

I. 学会総会概要と歴代会長の横顔 (第 1 回～第 50 回)

第1回胸部外科研究会

1. 会長 大槻菊男教授 所属 東京大学 (創立総会議長 福田保教授)
2. 開催時期 昭和23 (1948) 年11月3日
3. 開催場所 東京大学医学部内科講堂
4. 演題

一般演題 24題：全て肺外科に関するもの。

- 演題は1題につき10分以内、振鈴によって合図します。
- 順番に当って演者不在の場合には演説なきものと見做します。
- 会場にはエピソードスコープ(手札形)、シャウカステン、図表掲揚台等の用意あり。
- スライド、図表などは1時間前に係へ。
- 昼食はご持参のこと。

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『学会はややもすればお祭り騒ぎか、泥試合になり易いものであるが、わが国の胸部外科学会は明朗で真摯な学会となるべきである。

凡そ学術の進歩発達には各自その研究の成果を発表して忌憚なく合議し、知識を交換し、互いに相補ってゆくことが甚だ肝要なことである。只単に精通没頭しても自己の殻内にとじこもって他を顧みないような行き方は決してその目的にそう所以ではない。この要求に応ずるものは、学会と雑誌である』(「胸部外科」1巻1号創刊号(23年)「巻頭言」より)

7. 幹事会

- 胸部外科研究会の会則が参会者一同に諮られ、第1回会長に大槻菊男先生を選出。
 - 2日夜の世話人会で肺外科研究会と仮称されていたものを胸部外科と変更し、近い将来に「学会」にしたい意向なので「胸部外科研究会」も仮称とすることに一致。
 - 「大学では肺切のいい患者を集めるのは甚だ困難。大学と療養所とは互いに手を取り合って研究を進めるべきである」。
 - 12月。学会規約全12条の規則が出来た。会長は前会長が推薦。
- 学会参加数 250名

8. 医学界の事項

*日本脳神経外科研究会創立、第48回日本外科学会開催。

各官立医学専門学校を医科大学に昇格(1月)。WHO設立。GHQ、全ての科学者の活動現況報告と約2万人の科学者の登録報告を求める。国立遺伝学研究所発足(4月)。予防接種法公布(6月)。日立、電子顕微鏡を日本で最初に商品化(12月)。米国、国立保健研究機関(NIH)に改組して、外部への研究支援を拡充。

9. この年の出来事

1ドル360円の単一為替レートの実施。米国ベル研究所、トランジスターを発明と発表。GHQ、経済安定九原則を発表。昭電疑獄発生(9月)。極東軍事裁判判決(11月)。



創立総会議長
福田 保先生



第1回会長
大槻 菊男先生

第2回日本胸部外科学会総会

1. 会長 青柳安誠教授 所属 京都大学
2. 開催時期 昭和24（1949）年10月16日～17日
3. 開催場所 京都大学医学部外科整形外科講堂
4. 演題

一般演題 76題：全て肺外科に関するもの。

特別講演

- ① アメリカに於て胸部外科の麻酔は如何に行われているか
(慶大 石川七郎)
- ② 外科臨床から眺めた肺結核症の治療 (東大 都築前教授)
- ③ 肋膜外合成樹脂球充填術不成功例への考察 (京大 長石忠三)

教育講演2題

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『大切なもの、芽のあるものは皆で育てていく心がけがなければ物は残って行かないし、芽も育たない。学問の世界でも同じである。お互の仕事尊重し、追試すべきものは追試して話し合いと批判をくだしてこそ、お互の仕事は生きていくものです。』（「胸部外科」第2巻4号（昭24年）巻頭言「嵯峨野を歩む」より）

『私はアメリカの The Journal of Thoracic Surgery という胸部外科の雑誌を1939年2月号（Vol. 8, No. 3）より購読し、同誌が The American Association for Thoracic Surgery の機関誌であることを知り、日本においても是非このような学会があっても然るべきであろうと考えたわけである。

それでまず関西だけでもそのような意味の集りを持ちたく、皆さんと計り結核外科講話会を開くことを提案し、昭和23年2月に第一回例会を京大外科学講堂で開き、その8月にも開催しました。その頃すでに関東では結核談話会が設立されていることを知りました』（日本胸部外科学会雑誌1巻4号「日本胸部外科学会設立の前後」より）

7. 幹事会

- 肺外科研究会→胸部外科研究会→今回より胸部外科学会と改称。
 - 総会当日金300円のうち150円を会費とし、残りは近く発行予定の商業誌「胸部外科」（総合演説掲載号）の代金とする。
 - 「胸部外科」は当分、本会の準機関誌と見做す。
- 収入 25,600円（会費156人分）

8. 医学界の事項

- *日本気管食道学会創立。
- 文部省、大学学術局を設置（5月）。Excerpta Medica 創刊。
- マッククイストン、表面冷却低体温麻酔法。

9. この年の出来事

NHK、初のTV公開実験（3月）。湯川秀樹、「核力理論による中間子の存在の予言」によりノーベル物理学賞（11月）。東洋レーヨン、ナイロン線維の本格的生産開始（12月）。ソ連、原爆保有を公表。下山、三鷹、松川事件が続発する。



第2回会長
青柳 安誠先生

第3回日本胸部外科学会総会

1. 会長 河合直次教授 所属 千葉医科大学
2. 開催時期 昭和25 (1950) 年10月29日～30日
3. 開催場所 千葉医科大学講堂
4. 演題

一般演題 44題：肺と麻酔に関するもの。

心，実験研究 1 題のみ「肺動脈狭窄および大動脈狭窄の手術に関する実験的研究」(名大弥政洋太郎ほか)

* 共同研究 出血量に関して21題

特別講演

- ① 気管分岐の計測命名法 (小川教授)
- ② 選択的肺形成術の遠隔成績 (東大 都築 (岡教授代演))
- ③ 人工気胸療法の現状 (新生療養所 R.K. Stark)
- ④ アメリカ胸部外科の現況 (晴嵐荘 加納保之)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『同じ分野の研究成果を発表し，互に検討し，同じ分野の向上発展を期するものは学会といった方がわかり易く通りがよい。胸部外科研究会を胸部外科学会と呼ぶことをわたくしは提唱する。一分科の発展は，母体である外科学会の繁栄を意味するもので，枝葉が茂って枯れるようなことはあり得ない。アメリカ胸部外科学会は第28回に及んでおり，彼等との懸隔があまりにも大きいことを認めないわけにはいかない。

過去10年の間，完膚なまでに踏み躪られた土地の上に，一粒の麦が芽生え，今そのすくすくとのびてゆくのを見まもっている。苦しみであり，悲しみのうちに一つの光明を見出した喜びである。この芽生えを育成し，立派な実を結ばせることがわれわれの重大な責務でなければならない。』(『胸部外科』3巻1号巻頭言より)

7. 幹事会

○25年5月：評議員会(会長の任命)が発足。

参加料：会費金150円を300円に改める。収入 58,379円。

8. 医学界の事項

* 日本外科学会創立五十周年記念式(福田保東大教授のもと)

大学設置審議会，新制大学の四大学院(修士課程)を決定答申(5月)。第1回渡米留学生出発(350人)。医薬品の配給統制を大幅解除(11月)。グトウスキー(米)，核磁気共鳴吸収の化学シフトを発見。

林 周一，本邦初の気管内麻酔。スワン，保存大動脈片移植。ラウエル，腎移植第一例。ゼングスターケン(米)，ブレイクモア(米)ら，食道静脈瘤バルーンタンポナーデ法。硬性鏡胃カメラ開発(日本)。ダーデル，サクシニルコリン臨床応用。

9. この年の出来事

東京一沼津間の湘南電車の公式試運転(1月)。朝鮮戦争勃発('50.6.25～'53.7.27)，特需景気はじまる。金閣寺，放火で焼失(7月)。レッドパージ始まる(7月)。警察予備隊発足(8月)。東京通信工業，テープレコーダーの発表(12月)。



第3回会長
河合 直次先生

第4回日本胸部外科学会総会

1. 会長 小沢凱夫教授 所属 大阪大学
2. 開催時期 昭和26（1951）年10月27日～28日
3. 開催場所 大阪大学医学部大講堂
4. 演題

一般演題 111題（心 3，肺 95，食 3，麻 10），映画2本

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『座長には各部門の Expert をお願いしました。各座長はその当時の範囲内の誌上発表の演説は簡単に之を抄録し、かつ演説についてご批判をお願いします。今回は胸部外科の名前にふさわしく、乳癌から胸壁、肋膜、心臓、血管、麻酔などにまで及ぶ演説を多数しめているのであります。』

私は昭和13年、日本外科学会において肺切除の宿題報告を致しました。普段は武田助教授が専ら肺臓外科に当たっております。私は変な癖がありまして、茨の道を開くことには非常に興味をもっていますが、開いた道を平らかにすることにはあまり興味を持っておりません。勿論、実地医家にとりましては後の場合も必要であります。』

『学会の討論はプロレスでもない。水泳競技でもない。俗にいう勝負を言うてはいけない。榊原先生と心臓外科に関して討論し、注目された事があるのは皆様ご承知の如くである。今でも各種の会合でもお目にかかるが、常に和気あいあいである。君子は和して同ぜず。君子の交は淡水の如しとか、私はよき友をもったものだ』（胸外30年の歩み「思い出」より）

7. 評議員会（初の）

○「宿題および特別講演について、可及的多数の会員演題をなさしめるために時間を独占する特別講演、招請講演などはなるべく行わない方針であった（会長）。』

○「今後若し遂行する場合は広く会員の意見を聞いてから」。

会員数 1,262名（うち会費納入者602名） 学会参加数 約600名

8. 医学界の事項

* 第51回日本外科学会（昭26. 4. 2～5）前田和三郎教授の会長演説：「麻酔学の教育および研究は緊急事である」。

米国フルブライト法にもとづく日米教育交換計画について公文交換（6月）。赤堀四郎ら、タカジアスターゼの結晶化に成功（11月）。第41回日本学士院賞（山川鼎三、平沢 興）。

結核が死因の2位に、1位は脳溢血。最初の血液銀行、大阪で開業。

榊原 享、本邦初の PDA 手術。

9. この年の出来事

マッカーサー連合軍総司令官を罷免（4月）。サンフランシスコ講和条約調印（9月）、翌年発効。米国、世界初の原子力発電に成功。



第4回会長
小沢 凱夫先生

第5回日本胸部外科学会総会

1. 会長 武藤完雄教授 所属 東北大学
2. 開催時期 昭和27 (1952) 年10月4日～5日
3. 開催場所 仙台市公会堂
4. 演題

一般演題 142題

(心 8, 肺 116, 食 6, 麻 12),

追加発言 77

特別講演

肺結核の場所と動きの診断 (東北大名誉教授 熊谷岱藏)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『今回仙台で第5回日本胸部外科学会を開催するに当りましては各地より多数の演題の申し込みを受けました事は欣快とする事でございますが、時間の関係上平素御苦心の立派な御研究に対しまして、あるものは紙上発表の形をとらざるを得なかったこと又、御発表に対しても充分時間を差上げることが出来なかったことを遺憾に存じます。』

無謀な位沢山の演題を採用した積りですので、責任上、私が全部座長をつとめます。追加の論旨が演者の内容の反駁でない場合には発言を長びかせず、次の演者に移ることにします』

7. 評議員会：

- 「名誉会員がはっきりしないという噂もあり推戴状を出してはどうか」。
- 「幹事に前会長が入っているのはおかしい」。
- 教室で事務を扱う代表者を幹事に入れたい(毎年変更する)。現在の幹事の方々を常任評議員に格上げとする。
- 機関誌をもってはどうか。「今まで「胸部外科」という南江堂の商業雑誌に頼ってきたが、これをなくすのではなく学会としての機関誌を」。
- 「本会の状況では総会会長にご迷惑をかけているので、会長の就任をお願いするというのが適当と考える」。
- 次期会長に前田先生：「私共の教室では胸外に関心をもつ人が多いので、光栄であります」。

会員数 1,133名 会費 600円

8. 医学界の事項

*52回日本外科学会総会の印象：図表が殆んどすべて幻燈板となった。以前の萬燈式図表からくる量感とあわただしさからは全く解放され、落着いて聞くことが出来るようになった(日本医事新報：斉藤 日医大教授。見聞記より抜粋)。

*日本輸血学会創立。

国際精神衛生研究所発足 (2月)。日本ゼオン、塩化ビニール樹脂の製造開始 (5月)。細谷省吾、トリコマイシン発見 (12月)。ホールヘース、人工血管移植。ルイス、低体温心臓直視下手術成功。

ハフネーゲル、心臓人工弁開発。木本誠二、本邦初の保存大動脈片移植。

9. この年の出来事

李承晩ライン宣言 (1月)。東京国際空港の業務開始 (6月)。米国、原子力空母および原子力潜水艦を着工。戦後オリンピック初参加 (ヘルシンキ)。「君の名は」大ヒット。電電公社発足 (8月)。



第5回会長
武藤 完雄先生

第 6 回日本胸部外科学会総会

1. 会長 前田和三郎教授 所属 慶應義塾大学
2. 開催時期 昭和28 (1953) 年10月31日～11月 1 日
3. 開催場所 東京, 虎の門共済会館
4. 演題

総演題数 159題 (一般演題 117, 紙上発表 42)
(心 17, 肺 128, 食 3, 麻 11)

発表時間: 5 分, 7 分, 10 分

宿題報告

胸部外科と心肺性動態 (慶大 笹本 浩)

円卓討議

R₁ 空洞切開 R₂ 肺切除
R₃ 膿胸 R₄ 肺虚脱
R₅ 麻酔 R₆ 病態生理

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『我が国の胸部外科学会も肺結核外科の時代は既に過ぎ、心・大血管など実に堂々たる内容をもつ様になって参りました。殊に本年の第一日の午後の大部分は心臓大血管の外科、第2日の午後は心肺の病態生理に関する演題にて埋まる様な状況となりました。』

2 日間にわたります数々の貴重な御発表は高遠雄大でありました。この日本胸部外科学会の演題は本年の American College of Chest Physicians の年次学会のプログラム、あるいはドイツ外科学会のプログラム等と比較してみましても遜色がないような気がします。

しかし、我々学問に携るものは常に謙虚な気持をもって弛まず努力すべきであると考えます』

7. 評議員会

- 本年 7 月に日本胸部外科学会雑誌第 1 号発行: 年 4 回。
- 常任幹事以外の幹事を廃止し、会長の教室員を幹事とする。
- 「2 日目の夜、今後の日本胸部外科を担う若い方 40 名余りを招待して、“胸部外科の夢を語る”という自由座談会を催します (会長)」。
- 学会誌年 4 冊×600 円でやってきたが、会費 1,000 円にして年 6 冊で 80 頁に増やす案が出された。

会員数 1,133 名

8. 医学界の事項

* 日本災害医学会創立。

学位規則を制定 (3 月)。水俣病患者発生 (7 月)。ソーグ (加), 小児麻痺ワクチンを完成。ワトソン (米) とクリック (英), DNA の二重らせん構造モデルを提唱。リップマン (米) 補酵素 A (CoA) の発見で、クレブス (英) TCA 回路の発見でノーベル医学・生理学賞。ギボン (米), 人工心肺下心房中隔欠損の縫合閉鎖。マレイ (米), 内胸動脈冠状動脈吻合術。

セルジンガー (米), セルジンガー穿刺法開発。ゾル (米), 心臓ペースメーカー開発。

9. この年の出来事

NHK テレビ放送開始 (1 月)。スターリン没 (74 歳) (3. 5) 日本育英会法公布 (8 月)。国際理論物理学会開催 (戦後初の国際会議) (8 月)。マダガスカル島付近のインド洋で古代魚シーラカンスを捕獲。ヒラリー (ニュージーランド) とテンジン (ネパール), エベレストに初登頂。



第 6 回会長
前田和三郎先生

第7回日本胸部外科学会総会

1. 会長 篠井金吾教授 所属 東京医科大学
2. 開催時期 昭和29 (1954) 年10月23日～24日
3. 開催場所 東京、豊島公会堂
4. 演題

総演題数 183題 (一般演題 108, 紙上発表 38, 小部会 37)
(心 24, 肺 157, 食 2)

発表時間: 5分, 7分, 10分.

招請講演

- ① 剥皮術の諸問題 (国療茨城 関口一雄)
- ② 心動停止 (金大 卜部美代志, 東大 林 周一)
- ③ 心臓弁膜症の外科 (東女医 榊原 仟)
- ④ 気管支癌 (慶大 石川七郎)

特別講演

重症初感染結核におけるリンパ節切除並びに気管再形成術
(マルセイユ大 Henri Métras)



第7回会長
篠井 金吾先生

部会長報告

- ① 病態生理部会
- ② 切除肺の病理及び結核菌部会
- ③ 残存肺の再膨張部会
- ④ 気管支断端処理及び気管支瘻部会

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『本学会は第7回を迎え、野球で言うラッキーセブンである。本総会におきましてもヒットが出るかホームランが出るか、或いは三者凡退で終るかいずれかです。一本のヒットがあるいは一点獲得できれば私の最も幸甚とするところであります。

過去7年間をふり返りますと、当時肺結核外科学会の感があったこの学会が、本当の胸部外科学会になりました。本年度のノーベル賞は小児マヒの研究でした。3名の共同研究で、これからの胸外科の難問の解決にはセクショナリズムを捨てて友好と協力をもって当たっていただきたい。成功の1年間の進歩の縮図をこの2日間で拝聴したことになります』

7. 評議員会

○雑誌は年8巻発行することになった。

会員数 1,777名 会費 1,000円

8. 医学界の事項

* 日本麻酔学会創立

伊谷純一郎, 日本ザルの社会構造を発見. 長野泰一, ウイルス抑制因子 (インターフェロン) の研究.
ナッタ (伊), ナッタ触媒によりポリプロピレンの合成に成功.
稲生綱政, 本邦初の人工腎臓.

9. この年の出来事

第5福竜丸, ビキニ海域で米の水爆実験により被災 (2月). 造船疑獄で犬養健法相指揮権発動 (4月). 全国的な原水爆禁止署名運動おこる (7月). 防衛庁, 自衛隊発足 (7月). 東宝映画「ゴジラ」封切り (11月) (水爆実験で目覚めた太古の恐竜が日本を襲うという設定). 米国, 世界初の原子力潜水艦ノーチラス号進水. 米国, ビキニ環礁で水爆実験. 鳩山一郎内閣発足 (12月～'56.12.20).

第8回日本胸部外科学会総会

1. 会長 長石忠三教授 所属 京都大学
2. 開催時期 昭和30 (1955) 年10月14日～16日
麻酔学会 会長 青柳安誠 (京大), 10/13, 14 (午前) に続き.
3. 開催場所 京都府立医科大講堂
4. 演題
総演題数 166題 (一般演題 89, 紙上発表 24, 部会発表 53)
(心 33, 肺 128, 食 5)

招請講演

- ① 肺結核病巣の位置診断 (結研 塩沢正俊)
- ② 肺切除術後の胸腔に関する諸問題 (千大 伊藤健次郎)
- ③ 化学療法後の遺残肺病巣に対する切除術の適応
(国立宇多野療 香川輝正)
- ④ 心臓直視下手術の基礎と臨床 (東女医 榊原 仟)
- ⑤ 心臓直視下手術の基礎と臨床 (東大 木本誠二)
- ⑥ 肺化膿症の外科 (東医大 名倉 茂)

シンポジウム

気管支肺胞系異常拡張症の外科 (司会 長石会長)

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『我が国胸部外科学の水準を各方面揃えるために、従来比較的遅れていた方面に重点を置くことにし、肺結核外科のように我が国でも既にかなりの水準に達していると考えられるものは例年に比べて総会の演説時間をかなり少く致しました。

当時、まだ開心術は1, 2例しか行われていなかったが、心臓直視下手術の基礎と臨床というように、臨床なる文字をつけて、半ばおしつけの形でお願ひしました。この時を期に心臓外科が目覚しく進歩しました』

<思い出> 当時はまだ時々停電があつて困る時代でもあつた。開会後間もなくとつぜん明りが消えたのでしまったと思ったら、1, 2分でパッと明るくなってホットした。もしも、2, 3時間もあかりがつかなくなつたら… 第8回総会を境にして、設立以来の肺外科学会といつてよい内容のものであつた胸部外科学会を充実した胸外といつてよいものに変えたことであり、会長はモーニングを着て威儀を正し、総会場では会長自身がすべての演説の司会を担当した。

7. 評議員会

- 学会幹事木本先生の補佐として林周一博士に総会幹事 (1年任期) を委嘱.
- 宿題, 特別講演, シンポジウムについては会長の自由裁量に許されている.
- 雑誌は毎月発行とし, 学会号を別に出す.

8. 医学界の事項

ホジキン (英) ら, ビタミン B₁₂ の構造決定. サンガー (英), インシュリンのアミノ酸配列を決定.
ライソゾームの発見と命名 (DeDuve, CRM). メリルら, 一卵性双生児間腎臓移植に成功.
木本誠二, 本邦初の ASD, VSD, Fallot 四徴症手術 (選択的脳灌流法).

9. この年の出来事

トヨタ自動車, トヨペット, クラウンを発売 (1月). 初のトランジスターラジオ発売 (8月). 左右両派の社会党が統一 (8月). 保守合同による自由民主党結成 (11月). この年から翌年にかけて神武景気.



第8回会長
長石 忠三先生

第9回日本胸部外科学会総会

1. 会長 木本誠二教授 所属 東京大学
2. 開催時期 昭和31 (1956) 年10月21日～22日
3. 開催場所 東京, 産経会館ホール, 国際ホールほか
4. 演題

総演題数 157題 (一般演題 152)
 (心 29, 肺 123, 食 5), 映画 5本
 司会11人にて一般演題152題司会
 発表時間: 5分, 6分, 7分, 8分, 10分, 12分, 15分.

特別講演

- ① 食道癌の手術術式と追求成績について (千大 中山恒明)
- ② 食道癌の手術適応と追求成績並びに術後愁訴及びその処理について (東北大 桂 重次)
- ③ 肺結核に対する合成樹脂充填術の再検討 (京大 長石忠三)
- ④ 肺結核外科における成形術の地位 (結予保 久留幸男)

シンポジウム

心臓外科の適応に関する諸問題 (司会 木本会長)

パネルディスカッション

肺結核の治療: 化学療法か, 切除療法か (司会 青柳)

開会式

日本医学会会長祝辞
 日本外科学会会長祝辞

5. 会長講演

『心臓並びに大血管の外科』

6. 会長の言葉

『田宮日本医学会長の祝辞を承り, 私生児かも知れませんが, やはり日本医学会は胸部外科学会の親であります。日本医学会の一分科会として認めていただきたい。』

学会は演説する人だけを中心として運営すべきでなく, 聴く人にとっても楽しいものでなくてはならない。討論に関して若い人々に, 学会はあくまでも失敗も成功もそのまま偽らざるデーターを淡々と語り合う学者の話し合いの場であり, 獅子吼して大向うを唸らせる弁論大会ではありません。

独創的な業績を最初に発表することは大切ではあるが, それよりもさらに重要なのは独自の創案を育てる医学水準の向上であります』

7. 評議員会

- 会長の選出は評議員の投票により行う。
- 会員数 2,838名

8. 医学界の事項

ペニシリンショック死頻発, チョウとレバン(デンマーク), ヒトの染色体46本を確認。 コーンバーグ(米), 試験管内でDNAの合成に成功。

アンドロゾフ, 血管吻合器の臨床応用。

9. この年の出来事

科学技術庁が発足 (3月)。「宗谷」が東京港を出港, 昭和基地に向う (10月)。アンペックス社, ビデオテープレコーダーを発売。「もはや戦後ではない」(経済白書)。スエズ戦争(第2次中東戦争)勃発(10.29～11.6)。石橋湛山内閣発足 (12.23～57.2.23)。



第9回会長
木本 誠二先生

第10回日本胸部外科学会総会

1. 会長 ト部美代志教授 所属 金沢大学
2. 開催時期 昭和32 (1957) 年10月 4日～6日
3. 開催場所 金沢、石川スポーツセンター、北国新聞社講堂
4. 演題

総演題数 162題 (一般演題 134)

(心 21, 肺 135, 食 6), 映画 8本

- 会員はバッヂをつけて下さい
- 赤ランプをつけ、ブザーを鳴らしますから中止して下さい。
- ライカ版スライドのみ (図表の使用は許しません)。

特別講演

- ① 中部食道癌手術の2, 3問題 (千葉大 中山恒明)
- ② 肺水腫に関する諸問題 (久留米大 脇坂順一ほか3名)
- ③ 低体温法による直視下心臓内手術 (Düsseldorf 大 E. Derra)
- ④ 重症肺結核の治療 (東北大 鈴木千賀志, 日大 宮本 忍)
- ⑤ 肺切除の合併症 (東京医大 高橋雅俊ほか3名)

シンポジウム

直視下心臓内手術の基礎と臨床 (司会 小沢)

パネルディスカッション

肺癌の診断と治療 (司会 河合)

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『第一回が東京に於て発会されてからこの僅か10年の間に我が国の胸部外科そのものの目覚ましい進歩は、その当時に想えば全く隔世の感があります。その間1年毎と言はず実に半年毎にという程に飛躍的前進を来し、そのたずさわる面も肺、心臓、食道、胃、縦隔、心膜、肋膜と多方面に亘り、名実共に具った胸部外科の発展をみたのであります』

7. 評議員会

- 本会の日本医学会加盟が決定した。
- 会長選挙の際、推薦を行ない、投票する。評議員を100人とする (会長、常任幹事が選出)。
- 「総会出席者から会費をとり、だんだん上げてゆけば学会の総会を賄えるようになるのでは。会長個人の負担で走り回ってやるということは、考えなければならないと思う」。
- 関西の支部会を日胸外関西地方会としたい。地方会の記事を学会雑誌にものせるようお願いしたい。

8. 医学界の事項

* 日本形成外科学会創立。

梅沢浜夫ら、カナマイシンを発見 (8月)。荻野 昇医師、富山県医学会でイタイイタイ病鉍毒説を発表 (11月)。胃ファイバースコープの実用化。曲直部寿夫、本邦初の人工心肺下開心術 (Fallot 四徴症)。ジュリアン、大動脈冠動脈バイパス術。阿久津哲造、埋込式人工心臓 (イヌ、1時間半生存)。

9. この年の出来事

南極昭和基地開設 (オングル島上陸、1月)。岸信介内閣発足 (2.25～60.7.15)。日本原子力研究所が初の臨界実験 (7月)。糸川英夫ら、国産ロケット1号機発射成功 (9月)。吉田工業 (YKK)、ファスナーの近代の一貫生産 (10月)。江崎玲於奈、エサキダイオードを発明 (12月)。米国、中距離弾道ミサイルの発射実験に成功。ソ連、世界初の人工衛星スプートニク1号、ライカ犬を積んだ2号を打ち上げ。



第10回会長
ト部美代志先生

第11回日本胸部外科学会総会

1. 会長 桂 重次教授 所属 東北大学

2. 開催時期 昭和33 (1958) 年 9 月25日～26日

3. 開催場所 東京、産経会館

※東京で開催の日本麻酔学会(会長 篠井金吾教授)に続き、東京都で開催

4. 演題

一般演題 153題

(心 34, 肺 115, 食 3), 映画 2本

発表時間: 演題により, 4分, 5分, 7分, 10分, 12分の各種あり.

座長 5人で153題司会.

特別講演

Surgical considerations of aneurysms of the thoracic aorta based upon 175 cases. (Michael E. DeBakey, Baylor Univ.)

シンポジウム (なし)

パネルディスカッション (なし)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『今度の学会は特別講演1つで、シンポもパネルも何もございません。ドイツの学会あるいは2, 3の外国の学会に行つて参りますと、日本のように特別講演なんかに非常に長い時間をついやしているのはあまりないようでありますから……』

7. 評議員会

○会長『去年ちょうど私が外国へやってきましたものですから、評議員会に出られませんが、会場が東京か仙台かという事で、だいふやりとりがあったようです。』

地方で開く場合、いちばん困るのは講堂でありまして、大きな講堂のある場所で地方の会長がその会を主宰するというようなテストケースがあってもいいのではないかという意味で、私は進んでそのように致しましたが、篠井教授の教室の方々に大変お世話になりました』

○従来の評議員は毎年会長委嘱で決めていたが、会員35人に1人の割合で選ぶこととし、半数は選挙、半数は推薦に。

○地区を北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州の7地区に分ける。

○評議員資格については5年あるいは3年の線で次回検討することに。

8. 医学界の事項

タウンズ (米) ら、レーザー発見。

井口 潔、本邦初の血管吻合器開発。

9. この年の出来事

仏の潜水艦パチスカーフによる日仏合同の日本海溝学術調査 (6月)。特急こだま号運転開始 (10月)。東京～大阪 6時間30分。東京タワー完成 (11月)。東海大学 FM (超短波) 実験放送開始 (12月)。米国、ソ連より4ヵ月遅れて人工衛星打ち上げ。NASA を設置。



第11回会長
桂 重次先生

第12回日本胸部外科学会総会

1. 会長 中山恒明教授 所属 千葉大学
2. 開催時期 昭和34 (1959) 年10月15日～16日
3. 開催場所 東京, サンケイ会館
4. 演題

総演題数 155題 (一般演題 108)

(心 40, 肺 107, 食 8), 映画 3本

招請講演

- ① Prolonged veno-arterial pumping for circulation support.
(James F. Dickson, the Presbyterian Hosp. Philadelphia.)
- ② Heart wounds—A dissertation on over 150 cases,
(Auber L. Maynard, Harlem Hosp. New York)

特別講演

- ① 肺機能, 肺癌, 肺結核 14題, ③ 心大血管 6題
- ② 食道, 胸壁 6題,
(計 26題, 各20分を代表的研究者が第一会場で2日間続けて講演)

パネルディスカッション

- P₁ 肺疾患の基礎及びその関連その他 (司会 篠井)
- P₂ 肺疾患の臨床及びその関連その他 (司会 ト部)
- P₃ 肺結核及びその関連その他 (司会 青柳)
- P₄ 肺結核, 肺腫瘍及びその関連その他 (司会 河合)
- P₅ 胸壁大血管外科及びその関連その他 (司会 前田)
- P₆ 縦隔洞食道外科気管支断端処置及びその関連その他 (司会 桂)
- P₇ 心臓外科の基礎及びその関連その他 (司会 木本)
- P₈ 心臓外科の臨床及びその関連その他 (司会 小沢)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『学会は新しい研究, 進歩の発表の場であるという意味とともに, またある意味では若い方々の教育の場でもある。外国ではそのほかに懇親の場でもある。そこで, その分野で最も活躍しておられる現役の専門家に現在のレベルを皆様にお知らせして頂く様スケジュールを組みました』

7. 評議員会

- 次期開催地について: 「九州に行ったことがない。肺結核の外科の主題から顧みましても九州は少しテンポが遅れているように思われます。開催地を九州に選べば更に活発になって, それを機会に更に中央をのり越えるというような気運も起るかと思います」。

会員数 3,614名, 評議員数 110名

8. 医学界の事項

熊本大学医学部, 水俣病を有機水銀が原因と発表 (7月), カーレンス, 縦隔鏡検査法。

9. この年の出来事

メートル法の実施 (1.1), 関門国道トンネルの開通 (3月), 全長3461m, 皇太子御成婚式 (4.10), 日産, ダットサン・ブルーバードを発表 (8月), マイカー時代はじまる。この年から翌々年にかけて岩戸景気。ソ連のルナ1号, 人工衛星となる。欧州経済共同体発足。



第12回会長
中山 恒明先生

第13回日本胸部外科学会総会

1. 会長 友田正信教授 所属 九州大学
2. 開催時期 昭和35 (1960) 年10月27日～28日
3. 開催場所 福岡, 電気ビル
4. 演題

総演題数 149題 (一般演題 98, 紙上発表 23)

(心 46, 肺 98, 食 5), 映画 3本

制限時間が参りましたら赤ランプをつけブザーを鳴らしマイクを切ります。第1, 第2会場共2台のスライドを用意。

外人講演

Über die Resektionsbehandlung der thorakalen Aorta einschliesslich des Aortenbogens. (K. Kremer, Düsseldorf Univ.)

特別講演

- ① 非結核性肺疾患の外科 (東医大 篠井金吾, 早田義博)
- ② 肺結核外科の現況
 - 1) 虚脱療法を中心として (慶大 加納保之, 浅井未得)
 - 2) 切除療法を中心として (東北大 鈴木千賀志)
- ③ 食道外科の問題点 (食道癌を中心として) (弘大 石川義信, 東北大 阿保七三郎)
- ④ 食道外科の問題点 (空腸移植術を中心として) (千大 中山恒明, 中村 武)

パネルディスカッション

- | | |
|---|--|
| P ₁ 気管・気管支外科 (司会 赤倉) | P ₂ 胸部外科領域における肺機能 (司会 宮本) |
| P ₃ 心臓手術の術前術後管理 (司会 杉江) | P ₄ 人工心肺と低体温法 (司会 卜部) |
| P ₅ 心臓外科の展望 <ol style="list-style-type: none"> 1) 特に後天性心疾患の外科 (司会 榊原) 2) 特に後天性心疾患及び胸部大血管外科 (司会 木本) | P ₇ 肺結核の外科的療法とリハビリテーション (司会 高橋) |
| P ₆ 重症肺結核 (司会 武田) | |

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『ボストンのハーケン教授に講演を頼んでおったのでありますが直前になってご自分自身が手術を受けねばならなくなって、病気になって申し訳ない、皆さんにどうぞ宜しくということでございました。本学会も年々内容充実とともに、会員数も3,652名を数え得るに至り、隆盛の一途を辿っております』

7. 評議員会

会員数 3,652名, 会費 1,000円, 参加費 300円

8. 医学界の事項

*日本肺癌学会, 日本脈管学会創立。科学技術会議, 研究投資の国民所得比を英国並みの2%を提言。パイストフルビッツ(独), RNAポリメラーゼを発見。ウォーカー, 食道静脈瘤食道離断術。マイマン, レーザー発見。

9. この年の出来事

ソニー, 世界初のトランジスタ・テレビを発売(4月), 8インチ型。池田勇人内閣発足(7.19~'64.11.9)。NHK, カラーテレビの本放送開始(9月)。社会党委員長浅沼稻次郎, 立合演説中に刺殺される(10.12)。ピアノ, ルームクーラー, マイカーが新三種の神器。



第13回会長
友田 正信先生

第14回日本胸部外科学会総会

1. 会長 榊原 仟教授 所属 東京女子医科大学

2. 開催時期 昭和36 (1961) 年10月11日～13日

3. 開催場所 東京、産経ホール

4. 演題

一般演題 148題 (心 57, 肺 86, 食 5), 共同研究 34題,

映画 5本

特別講演

① 心臓外科の1年間の回顧と将来の問題の焦点 (東大 木本誠二)

② 肺臓外科の1年間の回顧と将来の問題の焦点 (東医大 篠井金吾)

③ 食道外科の1年間の回顧と将来の問題の焦点 (千葉大 中山恒明)

④ 乳腺及び縦隔外科の1年間の回顧と将来の問題の焦点

(金大 ト部美代志)

⑤ History of heart surgery. (D.E. Harken, Harvard Univ.)

◎中央演説 (一般演題より34題を選び, A会場にて予め発表)

教育講演

心: ① VSD 織畑, ② ASD 曲直部, ③ PDA 杉江, ④ T/F 三枝, ⑤ MS 西村

肺: ① (癌) 鈴木, ② (Tbc) 長石

食: 赤倉

5. 会長講演

『人工心肺の作成のことから…除細動器作成まで』

6. 会長の言葉

『若い研究者の方々を見るたびにその夫人の方々のご苦勞をいつも察しているのであります。せめて一年に一度だけおそろいで学会に出席され、同時にご主人の仕事にも理解をもっていただきたく、夫人の会を作りました』

7. 評議員会

○次回会長及び開催地 (医学会総会の年): 次々年度は医学総会の開催地のこともあり阪大武田教授に。

○次回は胸部疾患学会 (仙台, 中村教授内科) とのだき合せあり, 鈴木千賀志教授でどうか→投票で決定

○奨励金を最優秀講演者に: ある器械商からの申し出により, 「開心術における超低体温法の理論と実施」岩手医大麻酔科岡村 宏ほか13名を選考。

○第1回婦人の会発足

会員数 3,807名 会費 1,200円

8. 医学界の事項

*日本胸部疾患学会創立。

日本医師会・歯科医師会, 医療費問題で厚生省と対立, 全国一斉休診 (2.19). 中央薬事審議会を設置 (2月). NHK, 小児マヒワクチンの投与を求めるキャンペーンを開始 (3月). この年から翌年にかけて四日市市で喘息患者が多数発病 (12月). ニーレンバーグ (米), 試験管内で蛋白質を合成。

ハフナーゲル, 人工心臓弁 (ボールバルブ) 開発。

9. この年の出来事

ホンダ, 英マン島のオートレース, 125,250cc 級で優勝。ソ連, 世界初の人間衛星船ボストーク1号打ち上げ (ガガーリン少佐が塔乗)。



第14回会長
榊原 仟先生

第15回日本胸部外科学会総会

1. 会長 鈴木千賀志教授 所属 東北大学

2. 開催時期 昭和37 (1962) 年10月30日～31日

29日に学会主催の医学教育講演会：5題 (肺, 胸壁, 縦隔, 心, 食)

3. 開催場所 東北大記念講堂, *学会専用バス運行.

4. 演題

総演題数 183題 (一般演題 98)

(心 75, 肺 86, 食 18), 映画 6本

特別講演

Surgical correction of aortic valvular disease with prosthetic valves. (Dr. Earle B. Kay, St. Vincent Charity Hosp. Cleveland)

シンポジウム

S₁ 肺外科の現状と問題点 (司会 ト部)

S₂ 食道外科の現状と問題点 (司会 桂)

S₃ 心外科の現状と問題点 (司会 榊原)

パネルディスカッション

P₁ 胸部外傷 (司会 本多)

P₂ 心臓外科における人工弁の応用 (司会 木本)

円卓討議

R₁ 体外循環 (司会 橋本)

R₂ 冠動脈外科 (基礎研究) (司会 織畑)

R₃ 肺結核手術後の合併症と対策 (司会 塩沢)

R₄ 重症肺結核, 外科療法をめぐる諸問題 (司会 加納)

5. 会長講演

『心肺予備能力の評価をめざした我々の肺機能検査法を顧みて』

6. 会長の言葉

『本会が当地で開催されるのは10年振りでありまして、この間に我が国の胸部外科は目覚しく躍進致しました。これからは会員諸君の日頃の研究成果を発表していただくわけですが、何分にも演題数が多く、日程がギッシリと詰っておりますので各自所定の演説時間を厳守して下さい。

この2日間を静かに振り返ってみますと、目の瞪るような際立った研究発表こそみられませんでした。地味ではございますが、内容の充実した発表がございました。これこそ将来日本の胸部外科の発展の礎となるものであり、ご同慶に堪えない次第です』

7. 評議員会

○新評議員18名承認。青柳安誠先生、榊原享先生を名誉会員に推載。

8. 医学界の事項

*日本ME学会創立。

国立がんセンター発足 (1月)。厚生省, サリドマイド系睡眠薬の製造販売停止を通達 (4月) (9月に製品の回収行われる)。ばい煙の排出規制等に関する法律公布 (5月)。渥美和彦ら, 国産人工心臓 (イヌ, 7時間生存)。

9. この年の出来事

国鉄, 日本最長の北陸トンネル開通 (6月)。佐世保重工業, 世界最大の135トンタンカー「日章丸」進水 (7月)。三宅島大噴火 (8.26)。東京にスモッグが続く (12月)。米国, アポロ計画開始。米国初の人工衛星フレンドシップ7号を打ち上げ。英のペルツとケンドルー, X線解析によるヘモグロビンとミオグロビンの分子構造解明でノーベル化学賞。



第15回会長
鈴木千賀志先生

第16回日本胸部外科学会総会

1. 会長 武田義章教授 所属 大阪大学
2. 開催時期 昭和38（1963）年10月21日～22日
3. 開催場所 大阪大学新講堂，医学部大会堂ほか
4. 演題

総演題数 155題（一般演題 151）

（心 71，肺 71，食 13），映画 6本

*スライドは1分間に1枚だけ

特別講演（なし）

シンポジウム S 人工心肺

人工心肺—装置（名大 弥政）

人工心肺—操作（阪大 藤本）

人工心肺と低体温（東女医大 石原）

人工心肺と代用血液（東大 浅野）

発言（岡大 砂田）

5. 会長講演 『胸腺の外科』
6. 会長の言葉

『本年は第16回医学会総会が大阪であり，胸部外科はその第46分科会として第16回を開催しました。学会は常に neues を目標とし，wertvoll を目的としておりますので，お互いに意見を交換をするという点に重きをおきたい。十分に時間をとるようにしました。心臓血管では討論が多く，結核の外科では少なかった。下火になったのではなく非常に専門化したため，話がしにくいという点がある』

＜思い出＞A 会場で私が座長席に就いて定刻に開会した。暫くしてフロアーの左後方に篠井金吾教授が悠々と入場して見えた。私は驚いた。それは B 会場の最初の座長を篠井教授にお願いしてあったのであるから…。

7. 評議員会

- 前会長に感謝状及び記念品贈呈の件。
- 閉会式で河合教授により万歳三唱。
- 学会雑誌の原稿不足。「第5回大会で機関雑誌の発行が可決されたが，若い方達の論文をお送り下さい」。
- 会費の滞納と評議員投票権につき論議あり。
- 評議員の一年毎の選挙，推薦につき議論あり。

会員数 3,983名

8. 医学界の事項

*日本人工臓器学会，日本癌治療学会，日本リハビリテーション医学会創立。

厚生省・環境省令で，スモッグ警報基準を決定（12月）。

PET の発明(Kubl, DE & Edwards, RO). ツアーン(独)，インシュリンの合成に成功。ファイバースコープ国産化。

9. この年の出来事

テレビアニメ「鉄腕アトム」が大人気。関西電力，黒部川第四発電所を完成（4月）。通信衛星による日米間テレビ中継成功（11月），ケネディ大統領暗殺が第一報となる（11.22）。

若者ファッションは「アイビー」。黒沢明の「天国と地獄」大ヒット。連続爆弾魔「草加次郎」が世間を賑わした。東海村で原子力発電開始。



第16回会長
武田 義章先生

第17回日本胸部外科学会総会

1. 会長 宮本 忍教授 所属 日本大学
2. 開催時期 昭和39 (1964) 年10月29日～30日
3. 開催場所 東京, 産経ホール
4. 演題

総演題数 86題 (一般演題 161)
(心 84, 肺 66, 食 11), 映画 10本

外人招請講演

- ① 人工弁 (A. Starr, Oregon Univ.)
- ② Fallot 四徴症の治療経験 (R. Zenker, München Univ.)

特別講演

- ① 心肺疾患の診断, 小児疾患の診断 (司会 榊原)
- ② 肺機能 (司会 長石)

シンポジウム (会長が I～V 全ての座長を務めた)

- S₁ 肺結核 S₄ 血液希釈体外循環
S₂ 肺癌 S₅ 胸部外科手術の遠隔成績
S₃ 肺高血圧

パネルディスカッション

- P₁ 小児胸部外科 (司会 宮本)
P₂ 胸部外科の将来 (木本, 新井, Zenker, Starr, 宮本)

5. 会長講演 『日本胸部外科学会の過去について』

6. 会長の言葉

『昭和23年, 私の恩師大槻菊男先生が第1回日本胸部外科学会会長になられましてから16年後の今日, 弟子の私が本会を主催できますことは全く感慨無量でございます。17年の歩みはお手もとにあります別冊にもございますが肺の外科から出発して, 食道, 心臓大血管外科が加わりわれわれの胸部外科学会は百花爛漫の美しさを呈しています。胸部外科はもはや手技を競うのではなくて, 良く考えて手術をする時代が来たと思っております』

7. 評議員会

- 「最後に, 篠井, 木本, 榊原, Zenker, Starr, 宮本先生で胸部外科の将来について論じていただくのでお楽しみに」(会長)。
- 年会費を1,200円→1,500円にしてほしい。○次回会長会催地につき, 名誉会員～評議員へのアンケートで, 1位徳島, 2位東京, 3位北海道
- 評議員選挙制度の審査委員会を設置(任期5年の意見もあるが, 大勢は2年)。○雑誌編集委発足(7名)。

8. 医学界の事項

* 日本小児外科学会創立。厚生省, 環境衛生局と公害課を設置(3月)。新潟に水俣病患者発生(6月), この時は病名不明, SMON 病の命名(椿 忠雄ら)。
マスタートド, 大血管転位症機能的根治術(心房位血流転換)。

9. この年の出来事

シャープ, 電卓第1号発表(2月)。海外旅行の自由化(3月)。国際電信電話の増設完了(5月)。ネール インド首相没(74歳)(5.27)。新潟大地震(6.16)。名神高速全通。新幹線東京～大阪が開業(9月)。東京オリンピック開催(10月)。フルシチョフ ソ連首相解任(10.15)。佐藤栄作内閣発足(11.9～72.7.6)。



第17回会長
宮本 忍先生

第18回日本胸部外科学会総会

1. 会長 高橋喜久夫教授 所属 徳島大学

(7/19逝去→田北周平教授代行)

※学会運営委員会が臨時に学会を運営

2. 開催時期 昭和40 (1965) 年10月19日～20日

3. 開催場所 徳島市文化センターほか

4. 演題

総演題数 227題 (一般演題 188)

(心 110, 肺 100, 食 17), 映画 6本

発表時間: 1題7分. 規定時間を超過すると直ちにマイクを切り,
次の演者に登壇していただきます.

招請講演

Frühe und späte physiologische Veränderungen nach Brust-
korbverletzungen. (G. Rodewald, Hamburg-Eppendorf Univ.)

シンポジウム

S₁ 胸腺の外科 (司会 武田)

S₂ 人工弁移植の現況 (司会 宮本)

S₃ 胸部大動脈の外科 (司会 木本)

S₄ 肺移植について (司会 河村)

S₅ 肺結核外科療法の問題点 (司会 長石)

S₆ 肺癌の手術療法の予後 (司会 鈴木)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉 (田北周平教授代行)

『ご承知の通り高橋喜久夫会長は7月19日に亡くなられました。同教授は最後まで学会のことを心配しておられましたが、われわれの微力いかんとも致しがたく、誠にお気の毒に存じます。しかし私(田北周平)が運営委員長としてあとをお世話することになり、ここになんとか開催の運びとなりました』

7. 評議員会

○会長選挙: 開催地希望についての先の評議員のアンケートで、東京、北海道、九州、盛岡、京都、名古屋の順。42年度は医学会総会も名古屋でと決っている。

「地域のバランスと人柄を考える場合とがある」。「人情論では次々に困難なことが起ってくる」。

「九州は少しも胸外が発達していないという発言がありましたが、むしろ進んでいると思っておりまので、苦言を呈します」(評議員)。

○「会費を払えば会員になるというのではなく、もう少し程度の高いものにすることを提案します」。

会員数 4,053名

8. 医学界の事項

*日本移植学会創立。食道疾患研究会発足。

梅沢浜夫らイモチ病防除の抗生物質カスガマイシン開発(2)。新大医学部阿賀野川流域に水俣病類似の中毒患者発生と届出(4)。走査型電顕の開発と商品化

9. この年の出来事

チャーチル英国元首相没(90歳)(1.24)。米軍、南ヴェトナムのダナンに上陸(3.7)。南極観測船「ふじ」進水(3月)。朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞(10月)。日本原子力発電KK、最初の営業発電(11月)。



第18回会長
高橋喜久夫先生

第19回日本胸部外科学会総会

1. 会長 赤倉一郎教授 所属 慶應義塾大学
2. 開催時期 昭和41 (1966) 年10月18日～19日
3. 開催場所 東京, 国立教育会館虎ノ門ホール, 久保講堂
4. 演題

総演題数 216題 (一般演題 179)

(心 106, 肺 87, 食 23), 映画 6本

※スライド枚数は7分演題で左右合計14枚以内。

発表時間: 一般演題 7分又は5分, シンポジウム 8分。

招請講演

The result of operation for acquired mitral valve disease.

(F.H. Ellis, Mayo Clinic, Rochester, Minnesota)

シンポジウム

- S₁ 特発性食道拡張症 (司会 佐藤)
- S₂ ファロー四徴症根治手術 (司会 砂田)
- S₃ 肺結核外科の適応と限界 (司会 加納)
- S₄ 肺癌治療の困難性 (司会 香月)

シネシンポジウム (初めての企画)

- CS₁ 食道再建術 (司会 赤倉)
- CS₂ 人工弁置換術 (司会 榊原)

5. 会長講演 『食道癌治療の歩みと共に』

6. 会長の言葉

『シネシンポジウムは今回初めての試みでございますので、私としては果して予期の成果があがるかどうか心配しておりますが、こういう発表形成が今後皆様のお力によって育っていただけるというふうに期待しております。

Dr. Ellis には各シンポにも加わっていただき、日本の胸部外科の現状を理解していただく、メイヨクリニックに皆さんがいらした時に、そこに本学会のあたたかい友人が一人できるということはあるがたい』

7. 評議員会

- 胸外地方会について: 関東地方会昭和40年7月発足, 本年2回目, 関西地方会 (昭和33年6月発足) 本年度8回目, 北海道地方会昭和41年11月発足。
 - 評議員の半数は選挙 (10年以上), 半数は会長推薦で (経験問ワズ)。
 - 専門医制度委員会, 用語委員会, 選挙管理委員会が発足。
- 会員数 4,246名, 当日会場費 500円。

8. 医学界の事項

石坂公成ら, アレルギーの原因物質である免疫グロブリンEを発見 (11月), 蛍光抗体法の日本導入 (安田健次郎), 酵素抗体法の開発, コルフ (米), 死体腎移植第1例。

9. この年の出来事

日産, サニーを発売 (4月), 中国, 文化大革命はじまる (6.1), トヨタ, カローラ発売し (11月), 大衆乗用車の普及はじまる, 石川島播磨重工, タンカー「出光丸」進水, 巨大タンカーの時代はじまる (8月), 人口1億人突破, メートル法完全実施となる。



第19回会長
赤倉 一郎先生

第20回日本胸部外科学会総会

1. 会長 橋本義雄教授 所属 名古屋大学
2. 開催時期 昭和42（1967）年10月4日～5日
3. 開催場所 名古屋，愛知文化講堂，中電ホール，中区役所
4. 演題
 総演題数 185題（一般演題 173）（心 90，肺 75，食 20），
 ほかに追加 79題

シンポジウム

S₁ 肺結核外科の術後遠隔成績（司会 宮本）

S₂ 開心術の術後遠隔成績（司会 橋本）

5. 会長講演 『分科と総合』

6. 会長の言葉

『本会は春の第17回日本医学総会の分科会として開かれるわけです。日本胸部外科学会も第20回を迎えまして、人間生活から申しますと成人の日と申してさしつかえないと存じます。

本学会は何と云っても分化された専門的色彩が主体となるので非常に種類が多く、各施設ごと2題までと制限いたしました。173題のプロに追加をいただくという段取りにしたところ、79題あり計252題となりました。17回医学会総会（準備委員長）（会頭の勝沼精蔵先生は38年11月10日死去）、67回日本外科学会、20回日本胸部外科学会と本年中に3つの学会をお世話することとなりました』

7. 評議員会

- 次期会長選にあたり：「北海道でもぜひ一度不肖私にその任に当れということになり」（評議員）。他に数人の推薦あり。
 - 理事制においてはどうか（19回より継続中）。7名以上10名以内の理事，2～3名の監事をおくことが審議された。
 - 認定医認定制度規則（案）の提出。
- 会員数 4,312名，評議員数 147名

8. 医学界の事項

第17回日本医学会総会（準備委員長 橋本義雄）：総会講演「肺循環障害」（日大 宮本 忍），「心臓外科の適応及び手術遠隔成績」（東女医大 榊原 仟），「大動脈の外科」（東大 木本誠二），「特発性食道拡張症の成因とその臨床像について」（千大 佐藤 博）

川崎喜作，川崎病の発見（3月）。岡山大の小林 純，イタイイタイ病は工場排水が原因と発表（4月）。大気公害訴訟（四日市ぜんそく）おこる。公害対策基本法公布（6月）。南アフリカのバーナド，世界初の人心臓移植。アメリカのカントロビッツも，3日後に実施。杉本 隆ら，発癌物質 MNNG によりラット胃癌の発生に成功（12月）

9. この年の出来事

米国，ベトナムで枯葉作戦本格化。第3次中東戦争勃発（6.5～6.11）。ソ連の金星4号，金星に軟着陸（10.18）。吉田 茂（89歳）（10.20）。



第20回会長
橋本 義雄先生

第21回日本胸部外科学会総会

1. 会長 加納保之教授 所属 国療晴嵐荘病院, 慶應義塾大学
2. 開催時期 昭和43 (1968) 年10月29日~30日
3. 開催場所 東京, 国立教育会館, ニッショーホール, 発明会館ほか
4. 演題

総演題数 211題 (一般演題 181)

(心 108, 肺 76, 食 27), 映画 8本

*スライド原稿を右左別々に, 発表時間 7分.

教育講演

- ① 肺癌手術の現況 (東北大 鈴木千賀志)
- ② 肺性心に関する最近の考え方 (慶大 笹本 浩)
- ③ 人工弁置換術 (札医大 和田寿郎)
- ④ 僧帽弁狭窄症の手術 (九大 西村正也)
- ⑤ 胸部食道癌の手術 (鹿大 内山八郎)
- ⑥ 現在の肺結核の外科治療 (予防会 塩沢正俊)

シンポジウム

- | | |
|--------------------------------------|--|
| S ₁ 耐性菌排出肺結核の外科療法 (司会 加納) | S ₄ 乳児 (2歳以下) 開心術 (司会 榊原) |
| S ₂ 食道癌手術と合併治療 (司会 赤倉) | S ₅ 手術を中心とした肺癌の合併治療 (司会 石川) |
| S ₃ 胸部大動脈瘤手術の問題点 (司会 曲直部) | |

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

＜思い出＞この学会に於て和田教授の心臓移植に関する報告を番外演題としてあつかった。心移植は我が国では初めての経験であり、社会問題化されんとしている状況に鑑み、日本胸部外科学会会員として学術的にその真相を知っているべきであり、術者もその全貌を学術上発表すべきであると考えた。多数の報道関係者が押し寄せ、われわれ学会人がまだかつて経験したことのない無作法さ、身勝手さ、無礼さに出逢い、学会運営の秩序を乱さないよう教室員の払った苦労は大変なものであった。

7. 評議員会

- 和田寿郎教授, 本邦初例の心移植 (8月8日実施, 82日目) の経過を評議員会で報告 (一般演題の番外として学会報告)。
- 東北地方会昭和42年9月, 九州地方会昭和43年9月発足。
- 日本胸部外科学会規則施行細則はじめて実施。
- 理事選挙5名 (理事の性格, 日本外科学会の場合は, 未だ会長をされていない方が理事に, お済みの方が監事に選ばれているが, この学会では慣習的に元会長の先生方にいろいろ相談している)。
- 名誉会員に理事, 監事の被選挙権のありなしで激論。

会場費 1,000円

8. 医学界の事項

*日本消化器外科学会創立。

東京大学, 研修医問題でストライキ, 東大紛争の発端 (1.29)。政府, 富山県のイタイイタイ病を公害と認定 (6月)。米ハーバード大学, 脳死基準に関する報告書。オーリー, ユラナ, ニーレンバーク (米), 遺伝情報解読とその蛋白合成で, ノーベル医学生理学賞。

9. この年の出来事

ソニー, トリニトロンカラーテレビの開発発表 (3月)。川端康成, ノーベル文学賞 (10月)。政府, 明治百年記念式典挙行 (10.23)。各国で学生反乱が激化。米国ボーイング社, 世界最大の旅客機747型を完成 (490人乗り), 空の大衆化時代の到来。



第21回会長
加納 保之先生

第22回日本胸部外科学会総会

1. 会長 西村正也教授 所属 九州大学
2. 開催時期 昭和44(1969)年10月28日～29日⇒九州大学学園紛争，全学に機動隊導入のため，同年12月15，16，17日に延期
3. 開催場所 福岡市民会館，福岡県農協会館 電気ビル
4. 演題

総演題数 157題（一般演題 127）

（心 91，肺 55，食 11），映画 7本

○スライド：6分（12枚），5分（10枚）

教育講演

- ① 臓器移植と免疫（東大 石橋幸雄）
- ② 冠動脈の外科（東女医 榊原 仟）
- ③ 食道癌治療の要訣（東女医大 中山恒明）
- ④ 心疾患の造影診断（大阪市大 玉木正男）
- ⑤ 慢性膿胸の外科治療（結予防会 塩沢正俊）

シンポジウム

- S₁ 乳幼児心臓手術の適応と管理（司会 砂田→西村会長に）
- S₂ 難治性肺結核の治療（司会 宮本）
- S₃ 心臓再手術の検討（司会 曲直部）
- S₄ 肺癌の早期診断とその治療成績（司会 香月）
- S₅ 弁置換手術の遠隔成績（司会 杉江）

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

＜思い出＞昭和44年は全国各地において学園紛争たけなわな時期であった。九大でも昭和44年に入るや紛争がはげしくなり，10月に入って28，29日の開催を待つばかりの2週間前に，不幸にも九大内封鎖解除のため機動隊導入のやむなきに立ち至った。学会は延期されたが12月中旬に実施でき，胸外の歴史に汚点をつけることなく何とか総会を遂行できたことは皆様のご協力の賜物と考えている。

7. 評議員会

- 理事制がとられ，初の理事選挙実施。
- 胸外地方会のあり方につき；北海道，東北，関東，中部，近畿，中四国，九州と7地区に分けてはどうか。
- 胸部外科の標榜，推進（3つに分けないで）。
- 第1日の夕方6時より若い人達の意見を聞き，述べてもらう“胸部外科学のあり方”討論会を開く。

8. 医学界の事項

*日本心臓病学会創立。

大学運営臨時措置法施行，大学紛争は急速に下火となる（8月）。BHC，DDTの製造中止を決定（12月）。米，国家環境保護法制定。ハウンスフィールド，CT開発（特に臨床使用）。

9. この年の出来事

東大安田講堂封鎖解除に機動隊投入（1.18）。東名高速道路，全線開通（5月）。原子力船「むつ」進水（5月）。米国，アポロ11号（有人宇宙船でアームストロング船長が月面に降り立つ）月着陸。運輸省，欠陥車対策を発表（6月）。宇宙開発事業団を設置（12月）。水晶式腕時計「セイコークォーツ」発表，45万円（12月）。GNP自由世界第2位となる。



第22回会長
西村 正也先生

第23回日本胸部外科学会総会

1. 会長 砂田輝武教授 所属 岡山大学
2. 開催時期 昭和45（1970）年9月5日～6日
3. 開催場所 岡山市民会館ほか
4. 演題

総演題数 154題（一般演題 88, 示説 66）
 （心 86, 肺 44, 食 22）, 映画 7本

発表時間

主演題 10分, その他6分, 自由演題 7分.

招請講演

① Circulation assist devices. (阿久津哲造, Mississippi Univ.)

② The suturing instruments in thoracic surgery.

(F.N. Romashov, Lumumba Friendship Univ. Moscow)

シンポジウム 「なし」

5. 会長講演 『体外循環の過去, 現在, 未来』
6. 会長の言葉

『胸部外科の講座がありますのに胸部外科の標榜ができないのは, まことにわれわれ胸部外科学会員として遺憾なことでございます. 移植は学問として適応がハッキリすれば矢張り伸していくべきであります. しかし, ここで噂が出たからといって学会が一々声明書を発表したりするものではないと思っています.

会期は学生夏期休暇中としましたが本総会では全演題を14の主題と自由演題として運営し, 各座長には主題についてのレビュー, 印象または感想を述べていただき, シンポ形式として討議いただき理解を深めるよう配慮しました』

7. 評議員会

- 胸部外科を標榜科とするための促進委員会発足：医療法の法律改正が必要（議員立法あるいは厚生省による立法）国民へアピールする
- 学会のあり方委員会発足：学術集会, 会誌発行にとどまらず, 講演会, 卒後教育, 社会保険制度など積極的に実行する.

※初めてプログラム委員を委嘱（24名）

会員数 4,502名, 評議員数 2月15日選挙→150名, 参加料 2,000円

8. 医学界の事項

瀬在幸安, 本邦初の冠動脈バイパス術. フォンタン, 三尖弁閉鎖症手術.

公害14法が成立, 鉛添加ガリソンが問題化して無鉛化にすすむ, 公害問題が全日ニュースとなる（5月）.

スモン調査会, キノホルムによると発表, 厚生省キノホルムの発売中止（9月）.

米国, ニクソン大統領, 保健教書で「がんとの闘い」を提唱. 航空宇宙から生物医学分野, 研究の重点を転換. Axelrod J, Katz B, von Euler にノーベル医学生理学賞. スミス（米）ら制限酵素発見し, 組み換え DNA 技術の途をひらく. ユラナ（米）, 遺伝子の人工合成に成功.

9. この年の出来事

シャープ, 液晶電卓を発売（2月）, 個人需要への道を開く. 日本万国博覧会開催（3.14～9.13）. 日航機よど号ハイジャック事件発生（3.31～4.5）. 三島由起夫, 自衛隊市ヶ谷基地で割腹自殺（11.25）. 経済成長率実績6%（目標10.6%）. 日本山岳会によるエベレスト登頂成功.



第23回会長
砂田 輝武先生

第24回日本胸部外科学会総会

1. 会長 石川七郎教授 所属 国立がんセンター，慶應義塾大学
2. 開催時期 昭和46（1971）年9月2日～3日
3. 開催場所 東京，国立教育会館 イイノホール
4. 演題

総演題数 255題（一般演題 42，示説 82，セミナー 117）
 （心 38，肺 2，食 2），映画 4本

特別講演

- ① “Shock lung” following extensive trauma.
 (Theodore Drapanas, Tulane Univ. New Orleans)
- ② So called “Stage 0” lung cancer.
 (Edward J. Beattie Jr., Sloan-Kettering Cancer Center, NY)
- ③ Artificial heart valve prostheses for aortic and mitral valve replacement.
 (Viking O. Björk, Karolinska Sjukhuset, Stockholm)

シンポジウム

- S₁ 基礎から臨床へ，胸腺と外科との相関（司会 小林（慶大病理））
 S₂ 乳児（とくに6カ月未満）重症心疾患の外科治療と管理（司会 堀内）
 S₃ 連合弁膜症の手術方針：僧帽弁と大動脈弁膜症，三尖弁閉鎖不全と僧帽弁膜症（司会 榊原）

セミナー

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------------|
| ・開心術後のLOSの治療 | ・冠動脈疾患患者の造影診断 | ・肺サーファクタント |
| ・VSD兼AR治療方針 | ・食道癌手術の根治性とRisk | ・Flail chest |
| ・弁膜症と感染 | ・再建食道の機能 | ・術前心肺機能異常の開胸術直後における表現 |
| ・上行弓部大動脈瘤手術の問題点 | ・骨肉腫の肺転移の治療 | |
| ・ペースメーカー移植後の患者管理 | ・肺移植における臓器保存 | |

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『応募150題のうち，プログラ委に選んでいただいた42題が口演されますが，これが我が国の胸部外科学1971年の進歩の決定版と考えます』

＜思い出＞榊原先生に心関係38題の順位をつけていただいた。8分＋7分（討論）×38＝9時間30分と長時間であったことを，今はじめて知って身の縮む思いがする。4題の優秀作にしばったが，甲乙つけ難いという。

※この学会で“わかり易い学会発表”を要請（18回日医総会編集「わかり易い学会発表（南江堂）」を参考とするよう）

7. 評議員会

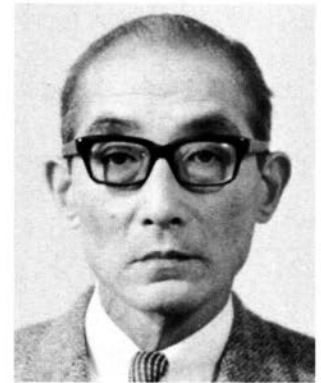
- あり方委員会の答申：理事業務分担（会務を分割して総務，財務，学術，機関誌編集，渉外の五部門としそれぞれに委員会をおき評議員を指名。他に総合将来計画委員会を新設し，あり方を吸収）

8. 医学界の事項

環境庁発足（6月）。奥村 康，多田富雄，免疫グロブリンの抗体産生を抑制するT細胞を発見（10月）。

9. この年の出来事

沖縄返還協定調印（6.17）。円，変動相場制へ移行（7月）。米のアポロ14号の飛行上2名が月面に着陸，滞在。ソ連，金星7号が金星に着陸。米インテル社，世界初のマイクロコンピュータを発表。ドルショックあり，初の円切り上げ実施される。



第24回会長
石川 七郎先生

第25回日本胸部外科学会総会

1. 会長 杉江三郎教授 所属 北海道大学
2. 開催時期 昭和47（1972）年9月28日～29日
3. 開催場所 札幌，北海道厚生年金会館，札幌テレビ放送
4. 演題

総演題数 234題（一般演題 132，セミナー 53）
 （心 139，肺 46，食 14，他 5），映画 2本

特別講演

- ① Landé-Edwards membrane oxygenator for support in 125 patients with cardiac or pulmonary disease.
 (R.G. Carlson, New York Hosp. Cornell Univ.)
- ② Biological tissue in heart valve replacement.
 (D.N. Ross, National Heart Inst., London)
- ③ A treatment of complex congenital heart disease utilizing aortic hemografts. (R.B. Wallace, Mayo Clinic, Minnesota)

シンポジウム

- S₁ 生体弁置換の遠隔成績（司会 曲直部）
 S₂ 肺癌根治率向上のために（司会 香月）

シネシンポジウム

むずかしい心臓手術のポイント（司会 浅野）

セミナー（6：30～8：30pm）

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| I. 人工弁，弁膜疾患 | III. 外傷，肺機能 | V. 体外循環 I |
| II. 冠不全の基礎 | IV. 乳児心疾患 | VI. 体外循環 II |

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『会場が4つあるいは時間帯によって5つということで，たいへんご迷惑をおかけしました。会長としての共通の苦心は恐らく演題の取捨選択，シンポジウムや特別講演のテーマ，およびシネシンポジウムの企画などでありましようが，私の場合もこれに随分意を用いたものでした』

7. 評議員会

- 学術委員会：学術講演のプログラム作成に関して会長を補佐する。教育講演，講習会を企画，交換教授制度の具体案を作る。
- 編集委員会：査読制度を採用。 ○会費 2,000円

8. 医学界の事項

* 日本心臓血管外科学会創立。

三共，パーキンソン病治療薬ドパストンを発表（1月）。日本初の環境白書（3月）。米，国家がん基本法制定。患者の権利宣言。ウッドワード（米）ら，ビタミンB₁₂の全合成。シンガーとニコルソン（米），生体膜の流動モザイク説を提唱。

9. この年の出来事

ストックホルムで人間環境に関する国連会議。米，スペースシャトル計画開始。横井庄一氏グアム島より帰る（1.24）。冬期オリンピック（2月，札幌）。『日本列島改造論』発表。連合赤軍の浅間山荘事件（2.19～2.28）。パンダ，ブームとなる。田中角栄内閣発足（7.7～74.12.9）。日中国交回復（9.29）。



第25回会長
杉江 三郎先生

第26回日本胸部外科学会総会

1. 会長 本多憲児教授 所属 福島県立医科大学
2. 開催時期 昭和48 (1973) 年 9月19日～21日
3. 開催場所 福島, 福島文化センター, 福島県営体育館
4. 演題

総演題数 301題 (一般演題 188, セミナー 83)

(心 206, 肺 66, 食 35), 映画 1本

* 2日目のセミナー (18～21:00) は場所を移して10会場 (飯坂)

招請講演

心臓移植 (N.E. Shumway, Stanford Univ.)

特別講演

① 弁手術の歴史と展望 (D.E. Harken, Harvard Univ.)

② 食道外科 (香港大, G.B. Ong)

教育講演 5題

シンポジウム

S₁ 遠隔成績からみた非腫瘍性肺疾患の外科療法 (司会 塩沢)

S₂ 冠動脈の外科 (司会 榊原)

S₃ 食道癌の特性に基づく診断及び治療 (司会 赤倉)

シネシンポジウム

CS₁ 食道再建術 (司会 佐藤 (博)) CS₂ ファロー四徴症根治術, 殊に流出路形成について (司会 麻田)

5. 会長講演 『胸部外科的疾患における腎機能の変化』

6. 会長の言葉

『私は学会とはその学問を発表してその学問の真価を問う場であることは当然であります, 学問を通じて心の友を得ることも1つの目的であると考えています. 学会はまた新しい研究の成果の発表の場のみでなく卒後教育の場でもあると考え, 教育 (卒後) セミナーをもちました』

＜思い出＞教育セミナーを有料として, パンフレットを出版. 心臓移植を話題にすることは日本に於てタブーとされていたが, 世界の真の姿を知っていただくため, 学会が主催するののも一つの義務であると考えて Prof. Shumway を招待した. 本邦においては, ややもすると旧帝大又は之に準ずる大学に重点がおかれる傾向があったシンポジウムのテーマを副会長時代に提示して, 2年後にそなえて研究を進めていただいた.

7. 評議員会

○理事 8名 (5名より増員) の選任: 評議員選挙をやめて資格制にする旨の賛否→賛成多数.

○新評議員選出制度発足. ○会費 3,000円

8. 医学界の事項

* 日本救急医学会創立

琉球大学を設置, 開学は翌年 4月 (8月). ハウスフィールド (英), ユーマック (米), CT スキャナーを開発し実用段階へ入る. コーエンとボイヤー (米), 遺伝子組み換え方法を開発. ルーテルバン, MRI 映像化に成功.

9. この年の出来事

国鉄, 座席の自動予約の全面実施 (1月). 外国為替変動制に移行 (2月). 第一次石油危機, ペルシャ湾の 6ヶ国, 原油大幅値上げ (9月). 服部時計店, デジタル腕時計を発売 (4月). 金大中事件おこる (8.8). 江崎玲於奈, ノーベル物理学賞受賞 (9月). 米国, 初の宇宙実験室スカイラブ 1号を打ち上げ. 「日本沈没」ベストセラーとなる.



第26回会長
本多 憲児先生

第27回日本胸部外科学会総会

1. 会長 香月秀雄教授 所属 千葉大学
2. 開催時期 昭和49 (1974) 年9月25日～26日
3. 開催場所 東京, 国立教育会館
4. 演題

総演題数 337題 (一般演題 157, 示説 151)
(心 225, 肺 75, 食 37)

招請講演

Lung transplantation-Past, Present and Future.
(John R. Benfield, Univ. California)

特別講演

- ① 縦隔腫瘍—胸腺を中心として (京大 寺松 孝)
- ② 人工心臓の現況 (東大医用 渥美和彦)
- ③ 大血管転位症 (東女大 今野草二)
- ④ 食道癌治療の反省 (北大 葛西寿夫)
- ⑤ 肺外科における基礎的研究とその臨床的意義 (東医大 早田義博)
- ⑥ 弁膜症の外科 (阪大 曲直部寿夫) ⑦ 冠動脈の外科 (神大 麻田 栄)
- ⑧ 我が国における胸部外科の歴史と展望 (肺・日大 宮本忍, 食・千大 中山恒明, 心・東大 木本誠二)
- ⑨ ファロー四徴症 (新大 浅野献一)

シンポジウム

- S₁ 新生児・乳児 (1歳未満) 心疾患の手術適応と管理 (司会 三枝)
S₂ 肺・食道外科領域における高齢者の手術適応 (司会 佐藤(博), 仲田)
S₃ 胸部大動脈瘤 (司会 杉江)

シネクリニック

- CC₁ 弁移植と弁形成術 (司会 古賀) CC₃ 食道再建 (司会 本多)
CC₂ 肺癌の手術 (司会 末舛)

5. 会長講演 『肺癌の外科療法とその周辺』
6. 会長の言葉

『学会そのものの特色として目立つものは、胸部外科領域の3つの大きな柱そのものには変りはないにしても、近年その比重が著しく心臓外科に傾いていることである。学会の企画としては相当思い切った変革を求めたつもりであるが、如何せんやはり膨大な演題の数に圧倒され十分に意図したものを生かせなかった』

7. 評議員会

- 副会長選任について：＜事前に印刷された推薦文が送付された件につき＞→会長「300人の方が選挙をやりますから、簡明な文章で自分が推薦しようとする方の人柄や業績をお手紙でお出しになるのは、この選挙制度がある限りやむを得ないだろうというふうに考えます」
- 卒業教育セミナーを実施することに。

8. 医学界の事項

- *日本外科系連合学会創立。丸山千里, 丸山ワクチンの治療成績と調査方法を発表 (9月)。

9. この年の出来事

戦後初のマイナス経済成長。米, 初の静止気象衛星打ち上げ。ニクソン米国大統領, ウォーターゲート事件で辞任発表 (8.8)。佐藤栄作氏ノーベル平和賞受賞。長嶋茂雄選手現役を引退。田中角栄内閣, 金脈問題で辞意 (11.26)。三木武夫内閣発足 (12.9～76.12.24)。



第27回会長
香月 秀雄先生

第28回日本胸部外科学会総会

1. 会長 曲直部寿夫教授 所属 大阪大学
2. 開催時期 昭和50 (1975) 年 9月24日～26日
3. 開催場所 大阪, 大阪ロイヤルホテル
4. 演題

総演題数 300題 (一般演題 150, セミナー105)
(心 92, 肺 43, 食 16)

招請講演

実験的肺癌—その発生と免疫 (阪大第3内科 山村雄一)

特別講演

- ① Tracheal surgery. (H.C. Grillo, Harvard Med. School)
- ② Surgery for coronary artery disease.
(J.H. Kay, Univ. Southern Calif.)

教育講演12題

シンポジウム

- S₁ 開心術後合併症とその対策 (司会 浅野)
- S₂ 機能改善を目的とした呼吸器外科 (司会 井上(権))
- S₃ 弁形成術の遠隔成績 (司会 古賀)
- S₄ 食道の良性疾患 (司会 葛西(森))

シネシンポジウム

- CS₁ 気管・気管支の手術 (司会 吉村)
- CS₂ 複雑心奇形の手術 (司会 三枝)

5. 会長講演 『教室におけるファロー四徴症根治術の歩み』

6. 会長の言葉

『会員数の多い学会では多くの会場が必要となるが、会場から会場への信号を渡り、バスで移動するのはどうもということで、多少、高価に過ぎるが、ロイヤルホテルとした。第1日目は心のみとして肺、食は実質2日間の学会ということにした。心は1/3割愛し、肺、食は殆んど採用。「30年の歩み」は会長の時に私が進言し、早田会長の労力で結実したものであります』

7. 評議員会

○理事選初めての立候補制: 13名立候補→8名当選標榜科→「呼吸器外科」, 「心臓血管外科」として厚生省に申請。第一回の教育セミナー実施 (9/24午前), 受講者200名○会費5,000円に値上げ。

8. 医学界の事項

東京江戸川区で六価クロムの汚染が問題化 (7月)。中外製薬, 抗癌剤ビシバニールを発売 (9月)。世界保健機構, 喫煙と健康への影響 (タバコ白書) を発表。

9. この年の出来事

新幹線, 東京—博多間全線開通 (3月)。ソニー, ベータ方式の家庭用 VTR 発売 (4月)。翌年10月には日本ビクターが VHS 方式を発売。ベトナム戦争終る (4.30)。エリザベス英国女王来日 (5.7～5.12)。カシオ, 4,500円の電卓発売 (10月)。米の火星探査機バイキング1号打ち上げ。



第28回会長
曲直部寿夫先生



南カルフォルニア大学の Kay 教授より曲直部会長に贈られたもので、次回会長に引き継がれた。

第29回日本胸部外科学会総会

1. 会長 麻田 栄教授 所属 神戸大学
2. 開催時期 昭和51 (1976) 年9月30日～10月1, 2日
3. 開催場所 神戸市文化ホール
4. 演題

総演題 385題 (一般演題 284, ラウンド 46)
(心 246, 肺 89, 食 50)

特別講演

- ① Surgical treatment of complete transposition of great arteries :
Palliative and definitive. (GA. Trusler, Univ. Toronto)
- ② The use of IABP assistance in the therapy of cardiogenic shock
secondary to acute myocardial infarction or subsequent to
cardiopulmonary bypass.
(H.J. Buckley, Harvard Med. School)



第29回会長
麻田 栄先生

シンポジウム

- S₁ 肺外科と心肺機能 (司会 仲田)
- S₂ 両大血管右室起始症の診断と治療 (司会 堀内)
- S₃ 食道癌手術後の合併症と対策 (司会 石上)
- S₄ 胸腺外科の問題点 (司会 寺松)
- S₅ A-C bypass の経験と工夫 (司会 杉江)
- S₆ 進行肺癌に対する手術の限界と合併療法 (司会 香月)
- S₇ 連合弁膜症、とくに重症例の手術適応と成績 (司会 三枝)

シネシンポジウム

- CS₁ 食道再建術 (司会 本多) CS₂ 三尖弁疾患の手術 (司会 曲直部)

ラウンドテーブルディスカッション

- R₁ 心筋保護 (司会 弥政) R₃ 心臓手術後の呼吸管理 (司会 松本, 小川(恭))
R₂ LOS (司会 中村)

5. 会長講演 『心臓手術の反省と工夫』
6. 会長の言葉

『学会では討論を活発にやっていたがテーマを限定しました。夜の会合はさけた方がよいと思い、セミナーはやりません。展示も評判があまりよくなくやめました。神戸の町、山、海なかなかきれいで、食べ物も国際的です。どうぞこの機会に』

7. 評議員会

- 次々期会長につき：「我々外科医は、和田教授のような、派手な話題はありませんが、人を批判する前に、自分たち自身を批判しなければならない。近視眼的な見方をすれば、けしからんと世の中の批判を受けるということもある」(評議員)。

8. 医学界の事項

排卵誘発剤により五つ子誕生 (1月)。高月 清ら、成人 T 細胞白血病を発見 (4月)。川崎市議会、全国初のアセスメント条例案を可決 (9月)。学術審議会、「生命科学研究の推進について」答申 (10月)。

9. この年の出来事

周 恩来中国首相没 (78歳) (1.8)。田中角栄前首相逮捕 (7.27)。毛 沢東中国共産党主席没 (82歳) (9.9)。福田赳夫内閣発足 (12.24～78.12.7)。英、コンピューターによる断層撮影 (X 線 CT) 装置開発。王 貞治選手、715号ホームラン。

第30回日本胸部外科学会総会

1. 会長 早田義博教授 所属 東京医科大学
2. 開催時期 昭和52 (1977) 年 9 月 23 日～25 日
3. 開催場所 東京, 京王プラザホテル
4. 演題

総演題数 551 題 (一般演題 272, ラウンド 223)
(心 352, 肺 138, 食 61)

招請講演

- ① Extracorporeal membrane oxygenator (ECMO) in cardiopulmonary failure. (R.H. Bartlett, Univ. of Calif. Irvine)
- ② Atrio-pulmonary conduit operations in tricuspid atresia. (F. Fontan, Hopital du Tondu, Bordeaux)

特別講演

- ① 肺結核の外科 (結研 塩沢正俊)
- ② 胸部外科の将来
(食・千大 佐藤 博, 心・阪大 曲直部寿夫, 肺・東医大 早田義博)
- ③ Hydatid disease of the heart. (Y.D. Al'Naaman, Univ. Baghdad)

シンポジウム

- | | |
|--|---|
| S ₁ Valsalva 洞異常と外科 (司会 井上) | S ₅ 食道癌に対する合併療法 (司会 飯塚) |
| S ₂ ECD の外科 (司会 浅野) | S ₆ 開心術時の心筋保護 (司会 瀬在) |
| S ₃ 胸部外傷 (司会 仲田) | S ₇ Conduit による肺動脈再建手術 (司会 堀内) |
| S ₄ 肺癌の手術と合併療法 (司会 岡田) | S ₈ 他臓器に異常を有する食道癌の外科 (司会 掛川) |

シネシンポジウム

- CS₁ 直視下僧帽弁交連切開 (司会 新井) CS₂ 肺癌の合併切除と郭清 (司会 末舛)

ラウンドテーブルディスカッション 24 主題 (223 題)

5. 会長講演 「なし」

6. 会長の言葉

『日本胸部外科学会30年の歩み』を発行致しました。朝は8時半から初日は9時まで、非常にハードなスケジュールで、皆さんには大いにがんばっていただきたいと思います。特に Round table の司会の先生には司会者報告もやっていただきますので、新宿で休む暇がないかもしれません。ホテルの同じ屋根の下でやるのは非常に便利ですが、反面不自由なこともございますが、ご容赦のほど』

7. 評議員会

- 会費3,000円値上げして8,000円に。○理事の任期を2年に延長したい。○認定医制度：専門医制度との関連で。○評議員462名選定 (1 月) ○事務所は文京区後楽 2-3-10, 白王ビルに移転。

8. 医学界の事項

* 国立循環器病センター開設。生物科学総合研究機構設置 (2 月)。利根川進ら、マウス胎児免疫グロブリン可変部の遺伝子の単離に成功 (8 月)。板倉啓吾ら、ソマトスタチンの産生に成功 (9 月)。サンガー (英) ら、ウイルスの遺伝子の全構造の決定に成功。

9. この年の出来事

静止気象衛星「ひまわり」打ち上げ (7 月)。日立造船所、エッソ、アトランチック号を完成。日本最大の造船 (7 月)。世界初の自動焦点コンパクトカメラ「コニカ C35AF」を発売 (11 月)。米アップル社、パーソナルコンピュータを発表。



第30回会長
早田 義博先生

第31回日本胸部外科学会総会

1. 会長 辻 泰邦教授 所属 長崎大学
2. 開催時期 昭和53 (1978) 年10月12日～14日
3. 開催場所 長崎市公会堂, 長崎市民会館ほか
4. 演題

総演題数 579題 (一般演題 294, ラウンド 209)
(心 357, 肺 144, 食 68)

招請講演

- ① From valvular xenograft to valvular prosthesis.
(Alain Carpentier, Univ. Paris)
- ② Reconstruction of the trachea with a silicone prosthesis.
(William E. Neville, New Jersey Med. Sch.)

特別講演

- ① 胸部境界領域疾患としての食道静脈瘤 (九大 井口潔)
- ② 僧帽弁膜症の外科における問題点 (神大 麻田栄)

シンポジウム

- S₁ 食道癌手術後療法の評価 (司会 遠藤)
- S₂ 心室中隔欠損孔閉鎖に伴う術後長期の諸問題 (司会 三枝)
- S₃ 僧帽弁閉鎖不全症の弁形成術とその遠隔成績 (司会 古賀)
- S₄ 胸部大動脈瘤, 解離性大動脈瘤 (Annulo aortic ectasia を除く) (司会 井上)
- S₅ 肺癌の免疫学的考察 (司会 大田)
- S₆ 肺癌外科療法における N-因子 (司会 山口)
- S₇ 心筋保護 (司会 浅野)

シネシンポジウム

- CS₁ 食道癌切除術 (司会 鍋谷)
- CS₂ 心室中隔欠損及びおよび室中隔欠損症に合併する心奇型の手術 (司会 堀内, 新井)
- CS₃ 気管支形成術 (司会 末舛)

5. 会長講演 『肺移植より気管支形成への歩み』

6. 会長の言葉

『きょうは皆様, 九州の西の果てまでよくお出でくださいました。評議員会にて, ご承知のように毎年評議員の数が50ないし60人ずつ増加をしており, 2年たちますと100名増えて620名位になるわけで, 会長として評議員会を運営する上においても非常に問題もあります。これから評議員選出方法を見直してはどうかという形で報告と要望ということでまとめたわけでございます』

7. 評議員会

- 「会長経験者が理事になるのはいかがなものか? 監事なら妥当と思うが」(評議員).
- 交換講義の実施
- 参加費 6,000円.
- 医療器械展示.

8. 医学界の事項

* 日本気管支学会創立.

米国で AIDS の患者を発見. 英国オルダム病院で, 世界初の体外授精児が誕生.

9. この年の出来事

東芝, 世界最初の日本語ワープロ JW-10 を発表 (9月). イラン革命勃発 (9.8). 第二次石油危機, 石油価格の再引き上げ (11月). 大平方正内閣発足 (12.7 ~ '80.6.12).



第31回会長
辻 泰邦先生

第32回日本胸部外科学会総会

1. 会長 三枝正裕教授 所属 東京大学
2. 開催時期 昭和54 (1979) 年11月 7日～9日
3. 開催場所 東京, 国立教育会館, 久保講堂, 発明会館
4. 演題

総演題数 245題 (一般演題 204) (心 159, 肺 62, 食 24)

招請講演

- ① The management of tetralogy of Fallot and its variations.
(James R. Malm, Columbia Univ.)
- ② The protection of the myocardium during cardiac surgery.
(Vincent L. Gott, Johns Hopkins Univ.)

シンポジウム

- S₁ 肺癌に対する外科治療の限界 (司会 早田)
- S₂ 複雑な先天性心疾患の外科治療 (司会 岩, 堀内)
- S₃ 浸潤型縦隔腫瘍の外科治療と遠隔成績 (司会 寺松)
- S₄ 体外循環における手術成績向上のための工夫 (司会 井上, 古賀)
- S₅ 他臓器に浸潤の及んだ食道癌の外科治療 (司会 葛西(森))

シネクリニク

(胸部外科領域における最近の手術手技)

- CC₁ 食道癌の手術 (司会 佐藤), CC₂ 胸壁合併切除を要する肺尖部肺癌 (司会 末舛)
CC₃ 大血管転位症の手術 (司会 弥政), CC₄ 冠動脈バイパス手術 (司会 浅野)

5. 会長講演 『教室における体外循環の変遷』

6. 会長の言葉

『204題の採用一般演題を分類しますと心・大血管68.2%, 肺・縦隔24.5%, 食道7.4%となり, 食道が著しく少ないことが目立ちます。これは一つには他に関連する学会や研究会が多くあり, またそのときどきの時代の流れにもよるものと考えますが, 本学会を構成する3本柱のうち, 一本だけが細すぎることは本学会のあり方として好ましい事ではありませんので, 食道関係各位の今後のご配慮をお願いする次第であります』

7. 評議員会

- 会長選にあたり:「会長・副会長というものは, ちょうどカキが熟して自然に落ちるといったような形で最も適格な方にやっていただくのが一番よいと思っております」(名誉会員)。
- 標榜科名である心臓血管外科, 呼吸器外科が昨年秋に国会を通過して, 立法措置がとられた。
- 本学会の3本柱: 理事会の構成もできればこの3部門から, しかるべき比率で選任されることが好ましい。
- 卒後教育セミナー: 年2回×3年で6回分をまとめて, 「新しい胸部外科の臨床」として発刊予定。

8. 医学界の事項

- *日本手術医学会創立, 世界保健機関, 天然痘の根絶宣言, A. リッチ(米), 左巻きのDNAを初めて発見。

9. この年の出来事

米国, 中国との国交回復, 台湾と断絶(1.1), 初の国公立大学共通一次学力試験実施(1月), 世界最長の上越新幹線大清水トンネル貫通, ソニー, ヘッドホンステレオ「ウォークマン」を発売(7月), 日本電気, パソコン-PC8001を発売, プームはじまる(9月), 米国, スリーマイル島原子力発電所で放射能漏れ事故, ソ連, アフガニスタンに侵攻(12.27~'89.2.15)。



第32回会長
三枝 正裕先生

第33回日本胸部外科学会総会

1. 会長 浅野献一教授 所属 東京大学
2. 開催時期 昭和55（1980）年9月24日～26日
3. 開催場所 東京，国立教育会館，久保講堂
4. 演題

総演題数 335題（一般演題 271）

（心 223，肺 79，食 33），映画 10本

特別講演

- ① Cardiac surgery in infancy. (Jaroslav Stark, ロンドン小児病)
- ② 補助循環より人工心臓へ (阿久津哲造, テキサス心臓研究所)

シンポジウム

- S₁ 高齢者（70歳以上）肺切除時の問題点（司会 早田）
- S₂ 食道再建法と術後代謝（司会 鍋谷）
- S₃ ジャンプグラフトの臨床（司会 新井）
- S₄ 気腫性肺嚢胞症の臨床（司会 寺松）
- S₅ 補助循環の臨床（司会 川島）

シネシンポジウム

- CS₁ 乳児期先天性心疾患に対する姑息的手術（司会 堀内）
- CS₂ 食道アカラシアの手術治療（司会 毛受）
- CS₃ 解離性大動脈瘤の手術治療（司会 井上）

5. 会長講演 弁置換術とくに直接成績向上のための研究

6. 会長の言葉

『昨今，応募演題数が非常に多いのでありますが，メインテーマだけはせめて一会場で行い，一般演題についても会場はなるべく少なくしたいと考えたので結果的に採択率はかなり厳しいもの（心大血管64%，肺・縦隔72%，食道89%）となりました』

7. 評議員会

- 「認定医制度はあくまでも胸部外科学会独自で行ういわば教育の原理というようなものであらうと思えます。認定医制度イコール厚生省で言う専門医と一緒にしがちであるが，ある程度やむをえない感覚的なものでありますが，あくまでも学会で認定する教育原理であると考えます」（会長）
- 三本柱について：「心臓血管外科にしる，肺縦隔外科にしる，食道外科にしる，もう立派に成長を遂げたグループが1つところにひしめき合っているところに議論が生じるのだと思います。3つのグループの接点の矛盾はいつまでたっても解決できないであらうと感じます。ですから発展的分裂，その構想だけを申しておきます」（名誉会員）
- 理事選挙法：三本柱を念頭に選任してほしい。理事の任期が2年になったので，連記制を検討中である。
- 認定医認定制度：細則を手直して，明年4月より実施することに決定。

8. 医学界の事項

三共，抗生剤セフメタゾンを発売（2月）。科学技術会議，ライフサイエンスの推進に関する意見具申（8月）。米最高裁，遺伝子工学で作成した微生物に特許を認定。スイスのワイスマンと米国のギルバート，大腸菌の遺伝子組み換えでインターフェロンを作成。

9. この年の出来事

富士通，75万円のワープロ（マイ・オアシス）発売，日本語ワープロの普及はじまる。米国上院，日本車の輸入規制を可決（6.18）。鈴木善幸内閣発足（7.17～'82.11.26）。イラン・イラク戦争勃発（9.9～'88.8.20）。



第33回会長
浅野 献一先生

第34回日本胸部外科学会総会

1. 会長 和田寿郎教授 所属 東京女子医科大学 (札幌医科大学)
2. 開催時期 昭和56 (1981) 年 9 月 24 日～26 日
3. 開催場所 東京, 教育会館, 久保講堂
4. 演題

総演題数 491 題 (一般演題 357, ポスター 65)
(心 328, 肺 119, 食 44)

招請講演

- ① Experimental research and clinical results of the local-made polyester arterial prosthesis. (Pan-Chih, China)
- ② Ten year's experience with the Ionescu-Shiley pericardial xenograft heart valve. (M.I. Ionescu, England)
- ③ Late results on the surgical treatment of congenital aortic stenosis. (Jenaro Pliego, Mexico)
- ④ Training of thoracic surgeons in the United States. (Jay L. Ankeney, USA)
- ⑤ Worldwide clinical results with the St. Jude prosthesis. (C. Walton Lillehei, USA)

シンポジウム

- | | |
|---------------------------------|---|
| S ₁ 心筋保護 (司会 堀内, 徳永) | S ₄ 胸部外傷 (司会 岩) |
| S ₂ 胸郭変形の外科 (司会 寺松) | S ₅ 解離性大動脈瘤手術成績向上の問題点 (司会 井上) |
| S ₃ 開心術の合併症 (司会 川島) | S ₆ 高齢者 (65 歳以上) の胸部外科手術 (司会 古賀) |

シネシンポジウム

- | | |
|------------------------------------|--|
| CS ₁ ECD 完全型の手術 (司会 新井) | CS ₄ 気管形成 (司会 早田) |
| CS ₂ 胸部食道癌の再建術 (司会 弥政) | CS ₅ 食道静脈瘤の外科治療 (司会 鍋谷) |
| CS ₃ 弁形成 (司会 浅野) | CS ₆ Extra-anatomic bypass 手術 (司会 三枝) |

5. 会長講演 『心臓代用弁の変遷を中心に』
6. 会長の言葉

『欧米における比の種の学会は肺, 食道, 心臓の三本柱を大切に守って来ている現状に鑑み, 本学会でもできる限りその方向に沿って苦労をしました。シンポが一般に長時間で会員が疲れる傾向を避けるため, 時間を一率に 90 分とし要点を判り易くするよう試みました。近年, アジア諸国からの参加者も少なくなく, スライドに英語をなるべく用いる様お願いしました。海外からの著名な外科医と若い会員が直接話しあえる様にと, Meet the Experts を計画しました』

7. 評議員会 (メインの会場を評議員会場に使用)

- 6 年後実施と決定した指導医, 認定医制度準備も考えて, これに見合う財源を考慮して会費を 8000 円から 1 万円とすることに (平成 9 年現在)。

8. 医学界の事項

正宗 悟ら, エリスロマイシン B の合成に成功 (3 月)。米ジェネンテック社, 免疫インターフェロンの大量生産法開発。

9. この年の出来事

ローマ法王ヨハネ=パウロ II 世来日 (2.23)。京大福井謙一教授, ノーベル化学賞受賞 (9 月)。沖縄本島で新種の鳥「ヤンバルクイナ」を発見 (11 月)。



第34回会長
和田 寿郎先生



公募で決定した紋章を用いて和田会長が七宝焼のメダルを作製し本学会に寄贈。

第35回日本胸部外科学会総会

1. 会長 弥政洋太郎教授 所属 名古屋大学
2. 開催時期 昭和57（1982）年10月13日～15日
3. 開催場所 名古屋市公会堂，愛知県勤労会館ほか
4. 演題

総演題数 580題（一般演題 508）

（心 396，肺 142，食 42）

演説時間：一般演題 6分，討論 4分，

スライド10枚以内，

招請講演

- ① Switch operation for transposition of the great arteries.
(Magdi H. Yacoub, National Heart Hosp. UK)
- ② Conduit procedures for complex cardiac anomalies.
(Gordon K. Danielson, Mayo Clinic)

シンポジウム

- S₁ 冠動脈疾患を合併した弁膜症の外科治療（司会 武内）
- S₂ 内科的治療の困難な IE の外科治療（司会 調）
- S₃ 複雑心奇形外科治療の遠隔予後（司会 川島）
- S₄ 呼吸器外科における新しい治療法の評価（司会 於保）
- S₅ 良性食道狭窄（アカラジアを除く）の外科治療（司会 鍋谷）
- S₆ 肺癌集学的治療における外科療法の組織型別にみた評価（司会 仲田）

シネシンポジウム

- CS₁ 大動脈弁輪拡大術を伴う弁置換術（司会 岩）
- CS₂ パンコースト腫瘍の外科治療（司会 正岡）
- CS₃ Fallot 四徴症根治術（司会 新井）
- CS₄ 頸胸境界部食道癌の切除，再建（司会 飯塚）

5. 会長講演 『開心術をめぐる諸問題』

6. 会長の言葉

『若さの特徴は，その溢るるばかりのエネルギーと，その着想の斬新さにあります。学問の流れには，常識的なものが当然あります。それを常に無視し，全く新しい発想で問題の解決を考え，突飛と思われるような idea を思いついたら，それをすぐ実験してみてください。そこから今までの常識を塗り変えてしまうような，新しい学問の発展することがあるであらうでしょう』

7. 評議員会

（司会）阿部，「弥政会長は実は先月来急なご病気で病後間もない状態でございますので，議長の介添えとして幹事の榊原欣作君を議長横に陪審させていただきます」。

○参加費 10,000円。 ○医科器械展示。

8. 医学界の事項

* 日本蘇生学会創立。

東芝，核磁気・断層装置（NMR-CT）の国産1号機を開発（6月）。学術審議会「大学等の研究機関における組み換え DNA 点検指針の改訂について」建議（6月）。

9. この年の出来事

上越新幹線が開業（11月）。フォークランド紛争（イギリス，アルゼンチン）。



第35回会長
弥政洋太郎先生

第36回日本胸部外科学会総会

1. 会長 寺松 孝教授 所属 京都大学

2. 開催時期 昭和58 (1983) 年11月11日～13日

3. 開催場所 京都, 京都国際会館

4. 演題

総演題数 620題 (一般演題 580) (心 415, 肺 158, 食 47)

招請講演

- ① Cancer of the oesophagus. (H. Pichlmaier, Köln Univ.)
- ② Reducing the mortality in critically ill cardiac surgical patients. (S. Williams Pierce, Pen. State Univ.)
- ③ Heart-lung transplantation. (Bruce A. Reitz, Johns Hopkins)
- ④ Current status of surgery for coronary artery disease.
(W. Gerald Rainer, Rainer-Sadler, M.D., P.C.)
- ⑤ Experience with tracheal and carinal resection for neoplastic disease. (F. Griffith Pearson, Toronto General Hosp)
- ⑥ Two staged and one staged, uni and bilateral thoracic operations.
(Werner Maassen, Ruhrland Klinik)



第36回会長
寺松 孝先生

特別講演

- ① 解離性大動脈瘤の外科治療 (慶大 井上正) ③ 胸腺関連腫瘍・概念, 分類, 生物学的状況及び臨床
- ② 肺移植における問題点 (東北大 仲田祐) (京大 伊藤元彦)

シンポジウム

- S₁ 弁形成か弁置換か (司会 岩, 古賀) S₂ 異型狭心症の外科 (司会 鈴木, 秋山 (文))
- S₃ 肺結核外科の現状と将来 (司会 安野, 山本 (博))
- S₄ 肺小細胞癌の手術適応 (司会 大田 (満), 山口)
- S₅ 低肺機能患者における胸部手術 (肺, 縦, 心, 食) の術後管理 (司会 草川, 加藤 (幹))
- S₆ 食道癌手術における食道再建法の改良と工夫 (司会 石上, 鍋谷)

シネシンポジウム CS₁ 大血管転位症の手術 (司会 川島, 城谷)

5. 会長講演 『呼吸器外科学の将来』

6. 会長の言葉

『一施設より3題以上の応募には採択順位を付けて載しました。本総会では例年以上の招請, 特別講演等をお願いしました。本総会の後に開催される第4回国際人工臓器学会との間に「人工臓器から臓器移植へ」というJoint meeting を持ちました。臓器移植とくに心・肺の移植はわが国においても今後の重要な課題と考えています』

7. 評議員会

- 副会長選: 四名が立候補(はじめての立候補制) ○「自画自賛の文書合戦や, 1票を集めるために全国行脚をなさっている方もある」(名誉会員). ○「多数のご忠告よく服膺するつもりですが, これらは懇親会の席上, ある程度, 少しやわらかくなったところで話すのも一考かと考えます (笑)」(会長).

8. 医学界の事項

がん対策関係国際会議, 対がん十カ年総合戦略を策定(3月). 東北大で日本初の体外受精児が誕生(10月). 米国国立癌研究所, 仏パスツール研究所のグループ, AIDS ウイルスを発見と発表.

9. この年の出来事

東京ディズニーランド開園(4.15). 米, ハーバード大学, 地球外文明探査計画 (SETI) を開始.

第37回日本胸部外科学会総会

1. 会長 堀内藤吾教授 所属 東北大学
2. 開催時期 昭和59 (1984) 年10月3日～5日
3. 開催場所 仙台市民会館ほか
4. 演題

総演題数 516題 (一般演題 399, ラウンドテーブル 65)
(心 372, 肺 107, 食 37)

スライド：略号以外は正しい日本語を使用して下さい。

招請講演

- ① 単心室に対する中隔形成術 (A.D. Pacifico, Univ. Alabama)
- ② 完全型総房室弁口開存症の根治手術 (F.J. Puga, Mayo Clinic)
- ③ 先天性心疾患の成因と胸部外科学 (高尾篤良)
- ④ 台湾大学医学院心臓外科の現況 (洪啓仁)
- ⑤ 気管・気管支疾患の外科治療 (黄偶麟)

シンポジウム

- S₁ 乳児胸部疾患の手術と管理 (司会 常本, 石沢)
- S₂ 食道再建後の機能 (司会 阿保, 西平)
- S₃ 高齢者胸部手術後の呼吸器合併症の予防と対策 (司会 仲田, 香川)
- S₄ 開心術中心筋保護法の現況と問題点 (司会 徳永, 阿部 (康))

シネシンポジウム

- CS₁ 気管分岐部再建術 (司会 山口, 新田)
- CS₂ 食道吻合術 (司会 掛川, 渡辺 (登))
- CS₃ 全肺静脈還流異常症の手術 (司会 毛利, 鈴木 (康))

ビデオクリニック (一般演題として85題, 初めての試み)

会長推薦一般演題

特に評価の高かった29題を選び, 第1日目の第1会場のみを使用して十分な発表時間に特別発言を加えた。

5. 会長講演 『我が歩み』

6. 会長の言葉

『本学会が胸部内臓の外科に関する統合学会であることを考えますと, 心・肺・食道の鼎立ができるだけ安定した均衡がとれるように, 会員一同努力して育成につとめることが大切だと思います。video は84題全例採用しました。特定の問題については徹底して討論して頂くために, 時間に左右されない夜間を選びラウンドテーブルとしました』

7. 評議員会

- 「来年あたりからは, 推薦演説というような形式をやめられて, 皆さんが自主的に選ばれるという形態をとっていただきたい」(評議員)。
- 推薦理事に関する規則：食道外科を専門とする理事が欠けたとみられる場合に限り, 推薦理事を設置することができる (1名, 任期1年)。

8. 医学界の事項

* 日本呼吸器外科学会創立。利根川進氏ら, T細胞受容体の遺伝子分離に初めて成功(6月)。米国, 臓器移植法成立, 臓器の売買を禁止。

9. この年の出来事

アフリカの飢餓拡大。インド, シーク教徒がガンジー首相暗殺。NHK, 衛星テレビ放送開始 (5月)。



第37回会長
堀内 藤吾先生

第38回日本胸部外科学会総会

1. 会長 古賀道弘教授 所属 久留米大学
2. 開催時期 昭和60 (1985) 年10月3日～5日
3. 開催場所 福岡市サンパレス, 国際センター, 市民会館
4. 演題

総演題数 825題 (一般演題 680, ポスター 89)
(心 576, 肺 194, 食 55)

招請講演

- ① Anatomic repair of transposition and malposition of the great arteries. (Yves. Lecompte, Paris)
- ② Current views on the surgical treatment of lung cancer. (Clifton F. Mountain, Houston)
- ③ New challenge of cardiac surgeon. (Ronald J. Baird, Toronto)



第38回会長
古賀 道弘先生

シンポジウム

- | | |
|---|---|
| S ₁ 先天性心疾患の術後長期遠隔成績
(司会 新井, 常本) | S ₄ 他臓器不全を合併した弁膜症の外科
(司会 小松, 江口) |
| S ₂ 急性心筋梗塞の外科治療 (司会 鈴木, 瀬在) | S ₅ 呼吸器疾患の外科と問題点
(司会 太田(満), 仲田) |
| S ₃ 胸部大動脈瘤手術と補助手段
(司会 井上, 田辺) | S ₆ 予後よりみた食道癌の手術々式の反省
(司会 飯塚, 阿保) |

シネシンポジウム

- CS₁ 各術式よりみた大血管転位症の手術 (司会 城谷, 川島)
CS₂ 食道癌における頸部上縦隔リンパ節郭清 (司会 鍋谷, 掛川)

ビデオクリニック: 132題, 一般演題として

5. 会長講演 『後天性弁膜症の外科治療』
6. 会長の言葉

『応募演題は982題と昨年に比し250題増加でした。プログラム委員の方に厳正に評価して頂き、第一に創意に満ちた研究、第二に症例に富んだ研究を選考してもらいました。ビデオクリニックは堀内前会長が初めて採用された新しい発表形式で、外科医にとって手術手技の進歩は極めて有効なもので今回は全て採用しました』

7. 評議員会

- 副会長選: 今回より推薦演説なし。○「来年の副会長, あるいは将来計画委員長あたりが一生懸命にしゃべっていますが, ほかの理事の諸君は黙してる」(名誉会員)。
- 「しかし, 私たち委員会が答申案として出したものを読んでおられないような気がして, 非常に悲しい思いがしたんですが……」(理事)。
- 評議員をアクティブメンバーから定数200ないし300名を選挙によって選出してはどうか。

8. 医学界の事項

日本新薬, 植物種特許の第1号を取得(6月)。「エホバの証人」輸血拒否事件, 川崎市の男子小学生の交通事故で。

9. この年の出来事

本州四国連絡橋のうち, 大鳴門橋開通(2月)。世界最長の青函トンネルが開通(2月)。NTT, 日本たばこ産業KKが発足(3月)。日航機, 御巣鷹山に墜落520人死亡(8.12)。ソ連共産党, 綱領を修正, ペレストロイカはじまる(10.15)。

第39回日本胸部外科学会総会

1. 会長 井上 正教授 所属 慶應義塾大学
2. 開催時期 昭和61 (1986) 年10月15日～17日
3. 開催場所 東京, 京王プラザホテル
4. 演題

総演題数 598題 (一般演題 539) (心 386, 肺 153, 食 59)

教育講演: 解離性大動脈瘤の発生と病理—外科医のために.

(田中健蔵, 九大)

招請講演: Long-term results of aortic homograft valve replacement.

特別講演 (Brian Barratt-Boyes, Auckland)

- ① Surgery of the trachea and bronchi.

(Michail I. Perelman, Moscow)

- ② Aortic dissection and dissecting aortic aneurysm.

(E. Stanley Crawford, Houston)

- ③ Surgery for teralogy of Fallot. (John W. Kirklin, Birmingham)

- ④ Surgery for carcinoma of the thoracic esophagus. (Alberto Peracchia, Padova)

シンポジウム

S₁ 手術予後からみた重症弁膜症の手術適応 (司会 藤田, 小柳)

S₂ 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖の外科治療方針 (司会 常本, 新井)

S₃ 気管・気管支再建術の基礎と臨床 (司会 石原, 前田)

S₄ 再発食道癌の治療 (司会 飯塚, 中村(輝))

S₅ 胸部外科手術後に発生する主要臓器不全の病態と治療 (司会 中村(和), 森(昌))

パネルディスカッション

P₁ A-C パイパスの手術方法の選択 (司会 瀬在, 伴)

P₂ 肺小細胞癌の外科治療 (司会 末舩, 岡田(慶))

P₃ 胸部食道癌手術の術後管理の問題点と対策 (司会 鍋谷, 阿保)

5. 会長講演 『胸部大動脈瘤外科治療の進歩』

6. 会長の言葉

『「創造と評価」をモットーとして, 創造性に満ちた研究, 種々の評価に十分耐える臨床成績・実験成果の発表を考へつつプログラムを編成し, 1,011題の応募のうち577題 (57%) を採用. 従来シンポジウムとパネルはその運営が混同されがちであったが, 本会ではシンポは十分な時間をとって一人一人の演者に発表いただき, 主として会場との間で討論していただく. パネルは, 予めいくつかの主題を設けて, その各々について数人ずつの発表と討論あるいはその後に症例検討を行うようお願いしてある.』

7. 評議員会

- 評議員は定数を250名以上300名以内とし, 評議員の立候補資格を有する正会員の中から選挙と推薦 (約60名) によって選出することになった.
- 学術委員会: 心臓・大血管, 呼吸器, 食道の各部門にわたりアンケートによる学術調査を行ない, 逐次学会雑誌に掲載することになった.

8. 医学界の事項

京大, 東大グループが, 成人 T 細胞白血病 (ATL) の感染を抑える生ワクチンの開発に成功 (9月).

9. この年の出来事

ソ連, チェルノブイリ原子力発電所で大事故, 放射能汚染 (4.26). 三原山, 大噴火, 島民船で脱出 (11.21). ハレー彗星が地球に最接近. AIDS 世界に拡大.



第39回会長
井上 正先生

第40回日本胸部外科学会総会

1. 会長 岩 喬教授 所属 金沢大学
2. 開催時期 昭和62 (1987) 年10月 6 日～ 8 日
3. 開催場所 金沢市観光会館ほか
4. 演題 総演題数 709題 (一般演題 656)
(心 469, 肺 195, 食 47)

特別講演

- ① Current status and perspective of coronary artery surgery.
(Frank C. Spencer, USA)
- ② Surgical management of ascending aortic aneurysms.
(Hassan Najafi, USA)
- ③ Cardiac transplantation in the Eurotransplant Sphere.
(Hans G. Borst, FRG)
- ④ Anatomic correction of transposition of the great vessels.
(Adib D. Jatene, Brazil)
- ⑤ Transhiatal esophagectomy without thoracotomy. (Mark B. Orringer, USA)
- ⑥ Matching Pulmonary resection to patient function. (Richard M. Peters, USA)
- ⑦ Surgical therapy for small cell lung cancer. (Thomas W. Shields, USA)
- ⑧ Left ventricular reconstruction after aneurysmectomy. (Adib D. Jatene, Brazil)



第40回会長
岩 喬先生

シンポジウム

- S₁ 虚血性心疾患の外科治療1987 (司会 鈴木, 瀬在) S₄ 良性食道疾患の診断と治療
S₂ 胸部大動脈瘤手術は進歩向上したか (司会 川島, 田辺) (司会 阿保, 杉町)
S₃ 肺癌の集学的治療における外科の役割 (司会 末舛, 山口)

パネルディスカッション

- P₁ 新生児, 乳児心臓手術の現況と問題点 (司会 城谷, 常本)
P₂ 縦隔腫瘍の病態と治療 (司会 岡田, 正岡)

シネシンポジウム

- CS₁ 後天性僧帽弁膜症に対する再建手術 (司会 新井, 小松) CS₃ Im 食道癌の切除と再建
CS₂ 呼吸器外科臨床における再建手術 (司会 石原, 仲田) (司会 鍋谷, 藤巻)

特別企画:

パネルディスカッション “Perspectives of Cardio-Thoracic Surgeons and Societies”.

5. 会長講演 『不整脈の外科的治療』
6. 会長の言葉

『第40回の節目として本学会を記念して, 海外の夫々の学会の元会長である招請講演者による記念パネルディスカッションを開きます。胸部外科の将来に関する世界の先達の意見をお聞き下さい』

7. 評議員会

○副会長選: 文章での所信表明のほかに, 評議員会での所信演説 (3名).

8. 他の医学界の事項

* 日本冠疾患学会創立. 厚生省が日本初の女性エイズ患者を認定 (カリニ肺炎で死亡). MIT の利根川進教授がノーベル医学生理学賞を受賞 (10月).

9. この年の出来事

石原裕次郎死去 (52歳) (7月). 竹下登内閣発足 (11. 6 ~ '89. 6. 2).

第41回日本胸部外科学会総会

1. 会長 新井達太教授 所属 東京慈恵会医科大学
2. 開催時期 昭和63 (1988) 年10月 4 日～ 6 日
3. 開催場所 東京, ホテルニューオータニ
4. 演題 総演題数 843題 (一般演題 722, 胸部外科'88 18, ほか)
(心 551, 肺 200, 食 60)

招請講演

- ① Treatment of complex congenital heart disease with modified Fontan procedure. (Gordon K. Danielson, USA)
- ② Update on lung transplantation. (Joel D. Cooper, Canada)
- ③ Cardiac transplantation in Australia.
(Victor P. Chang, Australia)
- ④ Heart and combined heart and lung transplantation.
(Stuart W. Jamieson, USA)
- ⑤ Transplantation and mechanical circulatory assistance.
(Oscar H. Frazier, USA)
- ⑥ Aortic homograft valves. (Donald N. Ross, UK)
- ⑦ The dilatation and intubation of malignant strictures of the oesophagus. (L.R. Celestin, UK)



第41回会長
新井 達太先生

シンポジウム

- S₁ 肺癌外科治療の再評価 (司会 末舩, 山口) S₂ 周辺臓器浸潤食道癌の手術 (司会 阿保, 藤巻)
 S₃ 単心室—Septation と Fontan 手術— (司会 川島, 今井)
 合同 S: 呼吸機能温存のための工夫 (司会 仲田, 草川, 磯野)

パネルディスカッション

- P₁ さあ! この時どうする? —心臓・大血管手術に関連して— (司会 井上)
 P₂ 浸潤型悪性縦隔腫瘍の外科治療—成績向上のための工夫— (司会 吉竹, 正岡)
 P₃ 術後機能と予後からみた胸部食道癌リンパ節郭清 (司会 掛川, 森(昌))
 P₄ 急性大動脈解離の外科 (司会 田辺, 江口)
 合同 P 胸部外科手術における Risk Factor は何か? —その予防と対策— (司会 調, 新田, 杉町)
 特別企画 P 世界における心・肺移植の将来と日本への提言 (司会 Danielson)

シネシンポジウム CS: 左室流出路障害の外科 (司会 城谷, 小柳)

5. 会長講演 『喜ぶてこの道を歩む』

6. 会長の言葉

『心・肺・食の三本柱はそれぞれの手術方法は異なりますが、胸を開いてその臓器に到達し手術を行うという点で一致しています。この基本的な考えにもとづいて本総会のプログラムを企画しました。胸部外科'88では各エキスパートに本邦及び内外の最も進んだ現況を語っていただきます。若い研究者が独創的な研究をアンビションを持って進めて頂きたいと願って Young Investigator's Award を設けました』

7. 評議員会

○副会長選: 全く演説なしで、すぐ選挙に。○学術集会費 (会長に支払) 500万円を700万円に増額。

8. 医学界の事項

日本医師会・生命倫理想談会が「脳死を個体死と認め、承諾あれば心臓器移植可」と最絡報告 (1月)。

9. この年の出来事

青函トンネル開通 (3.13), 瀬戸大橋開通 (4.10), 藤の木古墳の石棺が開かれる (10月)

第42回日本胸部外科学会総会

1. 会長 川島康生教授 所属 大阪大学
2. 開催時期 平成元年（1989）年10月16日～18日
3. 開催場所 大阪，ロイヤルホテル
4. 演題

総演題数 318題（一般演題 280）（心 181，肺 87，食 50）

招請講演

- ① Lung cancer : Reconstruction of the trachea and bronchus.
(Jean Deslauriers, Canada)
- ② Development of surgery of the esophagus in Europe.
(Maurice R. Kirk, U.K.)
- ③ Surgery for complete form of A-V canal defects with or without cono-truncal anomalies. (Albert D. Pacifico, USA)
- ④ Trends in coronary artery reoperation. (Floyd D. Loop, USA)

招請シンポジウム：Pre- and postoperative management in heart/lung transplantation. (Jack G. Copeland (U.S.A.), Leonard L. Bailey (U.S.A.), Margaret E. Billingham (U.S.A.), Timothy W. Higenbottam (U.K.))

シンポジウム

- S₁ ファロー四徴症の手術方法と成績（司会 城谷，内藤） S₃ 胸腺の外科（司会 山口，正岡）
S₂ 虚血性心筋障害の発生機序と対策（司会 徳永，草川）

パネルディスカッション

- P₁ 後天性弁膜症手術における controversies（司会 小松，江口）
P₂ 肺癌の手術成績はどれほど向上したか？（司会 富田，大田）
P₃ 食道癌根治手術術式の選択（司会 掛川，阿保）

ビデオシンポジウム VS 解離性大動脈瘤に対する手術の工夫（司会 寺本，松本）

5. 会長講演 『私の歩んだ心臓外科』

6. 会長の言葉

『学術集会の意義は2つあり，研究発表の場としての意義と会員の教育の場としての意義です．密度の濃い演題出来るだけ多くの会員に聞いていただくために，大幅な演題数の制限をしました(258/750題，採択率34%，32回三枝会長59%，39回井上会長57%，米国胸部外科約15%)．発表の機会がなくとも学会に参加すること自体が意義のあることで，今回から正会員資格申請のための業績を0.4点と評価されることになりました』

7. 評議員会

- 選挙評議員240名，推薦評議員60名選出．○臨床工学技士，体外循環認定士の認定の実施．○専門分野別の理事制度の導入（専門分野に属する正会員数の比例配分とし，最低を1名とすること）．
- 臓器移植特別委員会より「心臓移植に関する技術的評価と勧告」が提出された．

8. 医学界の事項

島根医大で日本初の生体部分肝移植（11月）．地球環境保存に関する東京会議（オゾンと熱帯林の保護）．

9. この年の出来事

昭和天皇陛下崩御（1．7）．新年号「平成」と改元（1．8）．東西冷戦体制の崩壊はじまる．竹下首相がリクルート疑惑その他の政治不信の責任をとり退陣（4月）．北京，天安門広場の武力制圧（6．4）．宇野宗祐内閣発足（6．2～8．8）．海部俊樹内閣発足（8．9～'91.11.4）．ノーベル平和賞・ダライラマ14世（10月）．ベルリンの壁の取り壊し（11.10）．坂本弁護士一家殺害事件（11.14）．



第42回会長
川島 康生先生

第43回日本胸部外科学会総会

1. 会長 末舛恵一教授 所属 国立がんセンター，慶應義塾大学

2. 開催時期 平成2（1990）年10月18日～20日

3. 開催場所 東京，京王プラザホテル

4. 演題

総演題数 710題（一般演題 461，ラウンド 49，ポスター 156）
（心 456，肺 177，食 83）

招請講演

- ① Thoracic surgical problems in the AIDS patient.
(Edward J. Beattie, USA)
- ② Lung transplantation. (Robert J. Ginsberg, USA)
- ③ Adenocarcinoma of Barrett's esophagus.
(F. Henry Ellis Jr., USA)

招請シンポ：Heart transplantation in Asia. (司会 井上，川島)

シンポジウム

- S₁ 食道がん術後にレスピレーターは必要か？ (司会 遠藤，掛川)
- S₂ 小細胞がんの外科 (司会 人見，山口) S₄ 心・肺・食道相互の合併切除 (司会 飯塚，富田)
- S₃ 感染性心内膜炎活動期の外科治療 (司会 江口)

パネルディスカッション

- P₁ 高齢者の手術 (司会 磯野，北村，新田)
- P₂ 遠隔成績から見た Stanford A 型大動脈解離の治療方針 (司会 草川)

ビデオシンポジウム

- VS 先天性複雑心疾患の外科治療 (司会 今井，竹内)

5. 会長講演 『胸部外科におけるいわゆる3本柱について』

6. 会長の言葉

『開胸術という難しい技術の誕生を契機としてはじまった日本胸部外科学会が，年々加速度的な発達を遂げてきましたが，その速度が余りにも速くて三本柱という言葉で言われている色々な問題点を生じていることは全く無視するわけにはまいりません。会長講演では，すでに評議員各位から頂いたアンケートのお答えをもとに私見を加えて，“三本柱”を論じてみます』

7. 評議員会

- 総合将来計画委：① 会員制，認定医制，諸制度の整理統合は可能か。→認定医制度が確立するまでは現行のままとし，将来は単純化の方向に検討すべき。② 三本柱を守るスムーズな選出法について→各専門分野の理事数が適切に配分されれば三本柱を考えたものとなる。③ 標榜科：「胸部外科」の呼称にこだわるべきでなく，心臓血管外科，呼吸器外科の線で。
- 臓器移植問題特別委：本年度から具体的な作業に入った「脳死臨調」に向って，“臓器移植の社会的問題再考”として，わが国の臓器移植に関わる諸問題を提示した。

8. 他の医学界の事項

日本人の平均寿命男75.91，女81.77と世界一を更新(89年簡易生命表)。米国立保健機構，免疫不全女児の遺伝子治療を実施。FDA，癌患者への遺伝子治療を認可。

9. この年の出来事

ソ連臨時人民代議員大会で初代大統領にゴルバチョフを選出（3月）。イラク軍がクエート領内に侵攻（8月）。東ドイツが西ドイツに編入，統一ドイツ誕生（10.3）。即位の礼（11.12）。



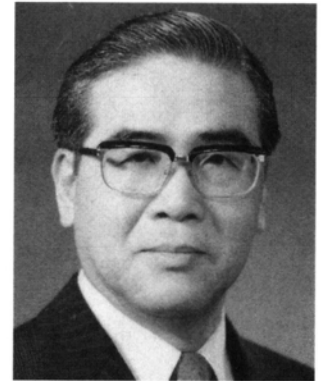
第43回会長
末舛 恵一先生

第44回日本胸部外科学会総会

1. 会長 城谷 均教授 所属 近畿大学
2. 開催時期 平成3 (1991) 年10月2日～4日
3. 開催場所 京都, 国立京都国際会館
4. 演題
総演題数 643題 (一般演題 318, ポスター 272)
(心 429, 肺 175, 食 39)

招請講演

- ① Open heart surgery in the first month of life.
(Roger B.B. Mee, Australia)
- ② Unifocalization for pulmonary atresia with ventricular septal defect.
(Hillel Laks, USA)
- ③ Bicavopulmonary anastomosis in complex heart anomalies.
(Jean-Yves Neveux, France)
- ④ The role of tracheobronchoplasty and the management of lung cancer.
(Douglas J. Mathisen, USA)
- ⑤ Pleural shunting for malignant pleural effusions. (Alex. G. Little, USA)
- ⑥ Theoretical experimental and clinical considerations in the choice of tissue valves.
(Brian G. Barratt-Boyes, New Zealand)



第44回会長
城谷 均先生

シンポジウム

- S₁ 新生児開心術の手段, 成績と問題点 (司会 江口, 今井)
- S₂ 重症先天性心疾患修復手術後の遠隔評価と管理 (司会 小松(作), 内藤)
- S₃ 急性心筋梗塞, 開心術後の重症心不全に対する補助循環と管理 (司会 草川, 徳永)
- S₄ 予後不良の肺癌に対する評価と対策 (司会 富田, 人見)
- S₅ 食道再建術の選択と実際 (司会 掛川, 藤巻)

パネルディスカッション

- P₁ 冠状動脈バイパス再手術 (司会 瀬在, 伴)
- P₂ 弓部大動脈瘤手術成績 (司会 阿部(稔), 宮本)
- P₃ 臓器移植に関連した諸問題 (司会 古瀬, 小柳)

ビデオシンポジウム

- VS₁ 気管・気管分岐部の再建 (司会 正岡, 石原)
- VS₂ 食道癌のリンパ節郭清・合併手術 (司会 遠藤, 小玉)
- VS₃ 複雑心疾患の修復手術 (司会 村岡, 松田)

5. 会長講演 『乳児開心術の進歩』

6. 会長の言葉

『今回の学術集会は, 第1に心・肺・食道外科いわゆる3本柱の総合研究集会であるという観点, 第2に研究発表は創造性に満ちたもの, 格段に優れた・格段に多い症例の検討で貢献度の高いものを優先するようプログラムを企画した. 口演247題 (採択率29.2%), 残りの優れた演題から272題 (32.1%) をポスターに』

7. 評議員会

○理事選出法: 正会員数に比例配分して心6: 肺3: 食1と決められた. ただし, 満されなかった時は推薦理事を置くことができる (任期1年). ○「臓器移植に関する本学会の見解」を公表.

8. 医学界の事項

末期がん患者安楽死事件 (5月), トリカブト保険金殺人事件 (7月).

9. この年の出来事

多国籍軍がイラク戦略拠点を爆撃, 湾岸戦争突入 (1. 17) → 2. 27停止. 雲仙・普賢岳で大火砕流が発生, 多数の死傷者がでる (6月). ソ連邦が消滅, 独立国家共同体が誕生 (12. 21).

第45回日本胸部外科学会総会

1. 会長 江口昭治教授 所属 新潟大学
2. 開催時期 平成4（1992）年10月14日～16日
3. 開催場所 新潟，新潟県民会館，市公会堂ほか
4. 演題

総演題数 479題（一般演題 285，ポスター 151）
 （心 298，肺 138，食 43）

招請講演

- ① Valvular reconstructions: the aortic and mitral valves.
 (Delos M. Cosgrove, Cleveland Clinic).
- ② An analytic approach to the surgical anatomy of complex cardiac malformations.
 (Robert H. Anderson, National Heart and Lung Institute)
- ③ Current status of pulmonary transplantation.
 (G. Alexander Patterson, Washington Univ.)
- ④ Staging of severity of gastroesophageal reflux.
 (André Duranceau, Univ. of Montreal)

シンポジウム

- S₁ 人工材料，生体材料を用いた呼吸器外科（司会 正岡，藤村）
- S₂ 胸部食道癌根治術におけるリンパ節郭清（司会 掛川，森（昌））
- S₃ 大動脈弓部再建における脳保護法とその評価（司会 鷲尾，阿部（稔））
- S₄ 乳幼児代用弁置換術（司会 小松，今井）
- S₅ 遠隔成績からみた後天性弁膜症に対する弁形成術（司会 古瀬，小柳）

パネルディスカッション：

- P 心室中隔穿孔の外科治療（司会 草川，北村）

ビデオシンポジウム：

- VS T4肺癌の外科治療（術式とその治療成績）（司会 尾形，山口）

5. 会長講演 『我が胸部外科の道—Way of thinking, 発想, 展開, 継承—』
6. 会長の言葉

『日本胸部外科学会総会が新潟市で開催されますのは今回が初めてであります。本学会の発祥は昭和23年5月，当地において第48回日本外科学会総会が中田瑞穂先生により開催された折りに，研究者が集って胸部外科研究会の提案がなされ，同年秋に第1回研究会が開かれましたので，縁の深さを感じる次第であります。本学会は胸部の外科の基幹学会として大きな使命と義務があると考えます』

7. 評議員会

- 選挙評議員240名，推薦評議員60名を選考することとした。
- 臓器移植特別委：移植関係合同委員会に参加。
- 学術集会のあり方について：会長個人の考え方が反映されてもよいが，学会として一つの方向付けをすべきである。会場は4～5会場が望ましい。他分野の教育的講演を聴けるような企画が望ましい。

8. 医学界の事項

臨時脳死及び臓器移植調査会：脳死を「人の死」とし，心臓などの脳死移植を容認する最終答申（1月）。

9. この年の出来事

毛利 衛，スペースシャトル「エンデバー」で宇宙飛行（9月）。ロサンゼルスの人々が暴徒化（4，29）。



第45回会長
江口 昭治先生

第46回日本胸部外科学会総会

1. 会長名 小松作蔵教授 所属 札幌医科大学
2. 開催時期 平成5(1993)年10月5日～7日
3. 開催場所 札幌, 北海道厚生年金会館, 札幌市教育文化会館
4. 演題

総演題数 609題 (一般演題 312, ポスター 259)

(心 360, 肺 204, 食 45)

教育講演: 胸部外科領域における移植免疫 (岩城裕一, 米国)

招請講演

- ① Vital organ malperfusion in conjunction with aortic dissection.
(Hans G. Borst, F.R.G)
- ② A decade of lung transplantation. (Bartley P. Griffith, USA)
- ③ Anatomic repair of complex cardiac anomalies of ventriculo-
arterial connections and ventricular septal defect
(Claude Planche, France)
- ④ Surgical treatment of annulo-aortic ectasia. (Bruce A. Reitz, USA)

シンポジウム

- S₁ 再冠状動脈大動脈バイパス術 (司会 瀬在, 北村 (惣))
- S₂ 心疾患を合併する肺癌手術の適応と手技 (司会 草川, 新田)
- S₃ Annuloaortic ectasia に対する外科治療の遠隔成績 (司会 松本, 川田)

パネルディスカッション

- P₁ 先天性疾患, この症例をどうする? (司会 今井, 内藤)
- P₂ 高齢者 (75歳以上) の開胸術後管理 (心臓, 大血管, 肺, 食道) (司会 古瀬, 山口, 元木)

ビデオシンポジウム

VS 食道癌に対する拡大手術手技と成績 (司会 藤巻, 三富)

5. 会長講演 「なし」
6. 会長の言葉

『学術集会のあり方については, ある程度の形式が踏襲されるべきことが確認され, 今回も限られた範囲内で, できるだけ三本柱を第一義とし, 研究発表の場とした. また教育の場として, 有意義な学術集会とすべく鋭意努力し, シンポジスト・パネリストは司会者以外の施設からとし, 類似の主題が発表されている施設より, 新らしい施設を優先. 1施設より, 1題は採用する方針に主眼をおいた』

7. 評議員会

- 会員制度と認定医制度の整合性をはかり, 単純化の方向で検討する.
- 学術集会: 昨年度の答申を基本に, 集会の企画, 演題採決は会長の裁量によることが確認された. 地方会の点数化が検討された (出席, 座長を含めて).

8. 医学界の事項

第3種ワクチン (MMR) の接種を当分の間見合わせることを厚生省が通知 (4月). 厚生科学会議が「遺伝子治療研究に関するガイドライン」決定 (4月).

9. この年の出来事

ウィリアム (ビル) ・クリントン氏, 42代アメリカ大統領に就任 (1月). 北海道南西沖地震 (M 7.8) で奥尻島に大津波来襲, 大被害 (7月). 日本プロサッカーリーグ (Jリーグ) が開幕 (5.15). モザンビークで PKO に参加する自衛隊が出発 (5月). 東京サミット開幕, 「経済白書」を採択 (7月).



第46回会長
小松 作蔵先生

第47回日本胸部外科学会総会

1. 会長 山口 豊教授 所属 千葉大学
2. 開催時期 平成6（1994）年10月25日～27日
3. 開催場所 千葉，千葉県文化会館，市文化センター，商工会議所
4. 演題

総演題数 693題（一般演題 324，ポスター 327）
 （心 463，肺 194，食 36）

招請講演

- ① Epidemiology, diagnosis, surgery and mortality of lung cancer in the Netherlands with reference to Western Europe.
 (J.C. van Mourik, Free Univ. Amsterdam)
- ② Cardiac surgery in adolescents and adults with congenital heart disease-Results and follow up. (E.R. de Vivie, Köln Univ)
- ③ Current treatment of disease of the thoracic aorta.
 (J.S. Coselli, Baylor College of Medicine)



第47回会長
山口 豊先生

シンポジウム

- S₁ 食道癌の周術期管理（司会 藤巻，遠藤）
- S₂ I 期肺癌切除例の遠隔成績と予後関連因子（司会 渡辺，加藤）
- S₃ 本邦における心・肺移植の臨床への展開—基礎的および臨床的課題（司会 小柳，藤村）
- S₄ 冠状動脈バイパス手術の遠隔成績（司会 細田，伴）

パネルディスカッション

- P 体外循環手術における脳合併症の対策（司会 阿部，中島）

ビデオシンポジウム

- VS₁ 弁形成術（司会 小松，古瀬） VS₂ 呼吸器外科における血行再建（司会 人見，白日）

5. 会長講演 『求めて歩きし道—呼吸器外科における機能温存と再建への道』

6. 会長の言葉

『最近定着してまいりました本会総会の企画運営を忠実に踏襲することとし，また3本柱の基幹学会としての使命を演題採択になるべく生かし，さらに創造性があり，新しい観点からの発展と討論が尽せるようにすべく努力致しました。』

学術集会のあり方答申に基づいた限られた枠組みの中で，可及的多くの演題を採用することは至難のことでありましたが……』

7. 評議員会

○理事：心5名，肺1名選任。（食道は再任，選挙はなし）○移植関係合同委員会—独自の基準にて心臓移植実施8施設を特定。○評議員選出制度アンケート。現行制度（完全連記制）に76.3%が賛同。

8. 医学界の事項

向井千秋さんらを乗せた米国のスペースシャトル，コロンビアが帰還（7月）。10回国際エイズ会議，横浜で開幕（8月）。

9. この年の出来事

ロスアンゼルス一帯にM6.8の大地震，死者50人を越す（1.17）。英仏海峡（ユーロ）トンネルが開通（5月）。ノルマンディー上陸50周年記念式典が仏北部の上陸現場で開かれる（6月）。村山内閣（6月）。松本市有毒ガス事件（7人死亡，後にサリンと判明）（6月）。関西国際空港の開港（9月）。

第48回日本胸部外科学会総会

1. 会長名 古瀬 彰教授 所属 東京大学
2. 開催時期 平成7年(1995)10月3日～5日
3. 開催場所 東京, 京王プラザホテル
4. 演題

総演題数 747題 (一般演題 398, ポスター 310)
(心 498, 肺 212, 食 37)

特別講演

Cardiac surgery in the '40's and '50's: A brief look back

招請講演 (Vincent L. Gott, Baltimore)

- ① Reoperative myocardial revascularization.
(Cary W. Akins, Boston)
- ② The case for combined carotid and coronary artery surgery.
(Cary W. Akins, Boston)
- ③ Aortic replacement with stentless valve.
(Stephan Westaby, Oxford)
- ④ Thoracoscopic laser pneumoplasty in the treatment of advanced emphysema: An analysis of the first 1,000 patients. (Akio Wakabayashi, Irvine)

教育講演

- ① The inflammatory response to cardiopulmonary bypass. (Kenneth M. Taylor, London)
- ② 肺癌の分子病因解析とその応用。(高橋 隆, 愛知県がんセンター研究所)

シンポジウム

- S₁ 非小細胞原発性肺癌の術後遠隔成績向上への展望 (司会 吉竹, 藤村)
S₂ 後天性弁膜症手術の遠隔成績と諸問題 (司会 小柳, 三木)

パネルディスカッション

- P₁ 胸腔鏡下手術の最前線 (司会 新田, Wakabayashi)
P₂ 集学的治療による食道癌手術成績の向上 (司会 内田, 渡辺 (寛))
P₃ 技術困難症例における冠状動脈バイパス手術 (司会 細田, 北村 (惣))

5. 会長講演 『演奏の時代から新たな発展を求めて一再手術から学ぶもの』

6. 会長の言葉

『ものごとの発展の時代を「作曲の時代」と呼び、その発展がプラトーに達した時代を「演奏の時代」と呼ぶことがあります。胸部外科はすでに演奏の時代に入っているといわざるを得ないと思われます。胸部外科がこのプラトーを脱して再び飛躍して行くためには何が求められているのでしょうか。このことについて学会で真剣に考えるべき時がきているような気がしています』

7. 評議員会

○阪神大震災被災会員の会費免除が承認された。○英文誌の刊行が提案された。

8. 医学界の事項

日本初の遺伝子治療が北大附属病院で始まる (8月)。

9. この年の出来事

阪神大震災 (死者, 行方不明者5,000人を超す (1.17)。都内地下鉄サリン事件発生 (3.20)。フランス・南太平洋ムルロア環礁で地下核実験を強行 (9.5)。



第48回会長
古瀬 彰先生

第49回日本胸部外科学会総会

1. 会長 人見滋樹教授 所属 京都大学
2. 開催時期 平成8(1996)年10月15～17日
3. 開催場所 京都, 国立京都国際会館
4. 演題
総演題数 1006題 (一般演題 329, ポスター 608)
(心 662, 肺 297, 食 47)

招請講演

- ① Transmyocardial laser channels for revascularization in advanced coronary artery disease.
(Lawrence H. Cohn, Harvard Medical School)
- ② New challenges in lung transplantation.
(Robert J. Keenan, University of Pittsburgh)
- ③ The detection, staging, and follow-up of lung cancer using ^{18}F -fluorodeoxyglucose positron emission tomography.
(Walter G. Wolfe, F. Duke University Medical Center)
- ④ Endovascular stent and graft repair of thoracic aneurysm.
(R. Scott Mitchell, Stanford University School of Medicine)

シンポジウム

- S₁ 大血管転位症の術後遠隔成績 (司会 今井, 安井)
- S₂ 胸部大動脈瘤緊急手術の対策と術後成績 (司会 川田, 中島)
- S₃ 進行食道癌治療成績改善のための工夫 (司会 内田, 井手)
- S₄ 非小細胞肺癌手術におけるリンパ節郭清の功罪 (司会 池田, 渡辺 (洋))
- S₅ 気腫性肺疾患に対する術式の選択とその成績 (司会 新田, 清水)

パネルディスカッション

- P₁ 冠状動脈バイパス術におけるグラフトの選択 (司会 伴, 北村 (惣))
- P₂ 胸部悪性疾患に対する分子生物学的診断, 治療の現状と展望 (司会 前田, 土井)
- P₃ 弁膜症に対する手術: 弁置換か弁形成か (司会 古瀬, 川副)

カレント・ストラテジー 22題, *海外留学生討論会 15名, *医学史展示

5. 会長講演 『温故知新一日々新た一』
6. 会長の言葉

『学術集会の第一の意義は, 学術上の最先端の研究の発表にあり, 一般演題として世に初めて発表されるものと考えます. 学会の第二の意義は最新の知見でなくとも, 現在の最高水準について講演, 討論していただくシンポジウム, パネルディスカッションにその時代がもっとも要求しているテーマを選択することにあると存じます. 会長講演では50年を越える教室の歩みを踏まえて将来を展望したいと存じます. 過去の業績を大切に, その中からヒントを得, 第六感とも言える鋭い感性から新しい発想が得られるものと考えています.』

7. 評議員会

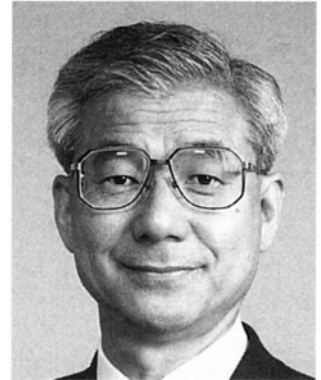
- 英文誌への移行が決定. ○学会認定医・専門医制度の見直しを討議.
- 理事選挙法の変更の可否を討議. ○臓器移植法案廃案に対する対策を検討.

8. 医学界の事項

非加熱血液製剤問題で厚生省研究班長, 製薬会社歴代社長3名, 元厚生省課長が業務上過失致死容疑で逮捕 (8.29～10.4). エリツィン・ロシア大統領心臓バイパス手術を受ける (11.5). 特養ホーム建設の収賄容疑で前厚生事務次官が逮捕 (12.4).

9. この年の出来事

橋本内閣発足 (1.11～). 米大リーグの野茂投手ノーヒット・ノーラン達成 (9.17). ペルー日本大使公邸左翼ゲリラに占拠され, 人質が拘束された (12.17～'97.4.23).



第49回会長
人見 滋樹先生

第50回日本胸部外科学会総会

1. 会長 川田志明教授 所属 慶應義塾大学
2. 開催時期 平成9 (1997) 年10月1日～3日
3. 開催場所 東京, 京王プラザホテル
4. 演題
総演題数 710題 (一般演題 378, ポスター 290)
(心 444, 肺 225, 食 41)

招請講演

- ① Protection of the central nervous system during operations on the thoracic and thoracoabdominal aorta.
(M. Arisan Ergin, The Mount Sinai Medical Center, New York)
- ② Left ventricular reconstruction for ischemic dyskinesia or akinesia: A twelve year experience.
(Vincent Dor, Centre Cardiothoracique de Monaco)
- ③ Surgical management of hypoplastic Left heart syndrome.
(William I. Norwood, The Aldo Castaneda Institute, Switzer land)
- ④ Esophagectomy without thoracotomy for carcinoma.
(Mark B. Orringer, The University of Michigan)
- ⑤ Induction immunosuppression for lung transplantation: the role of OKT3 and inhaled nitric oxide.
(John C. Wain, Massachusetts General Hospital)



第50回会長
川田 志明先生

シンポジウム

- S₁ 気管・気管支再建術の進歩 (司会 白日, 前田)
- S₂ 食道良性疾患に対する新しい治療法 (司会 井手, 内田)
- S₃ DeBakey I型大動脈解離の外科治療と遠隔成績 (司会 田林, 村瀬)

ビデオシンポジウム

- VS₁ この症例をどうする (僧帽弁, 大動脈弁形成を中心に) (司会 小柳, 北村 (惣))
- VS₂ この症例をどうする (縦隔リンパ節郭清, 肺・食道合同シンボ) (司会 門田, 渡辺 (寛))

パネルディスカッション

- P₁ 肺癌の縮小手術 (胸腔鏡手術を含む) (司会 渡辺 (洋), 小林)
- P₂ Univentricular repair をめざす strategy —LVOTO, TAPVC, 房室弁逆流合併例—
(司会 黒澤, 松田 (暉))

5. 会長講演 『胸部外科医の能書き』

6. 会長の言葉

『本会は昭和23年に創立され、今年で丁度50年という大きな節目を迎えます。齢成って golden jubilee いわゆる金婚式を迎えたこととなりますが、胸部臓器の外科的治療・研究・教育を担当する職能集団として、臓器移植法成立後の対応、学会認定医・専門医制度の抜本的見直しなど、将来に向けた重要問題が山積しております。五十にして天命を知るといいますが、まさに日本胸部外科学会の本番はこれからといえます。』

7. 評議員会

8. 医学界の事項

英ロスリン研究所でクローン羊誕生 (2.27)。臓器移植の場合に限って「脳死は人の死」とする臓器移植法成立 (6.18)。

9. この年の出来事

ロシアタンカー「ナホトカ」号重油流出、日本海沿岸に (1.3)。中国の元最高実力者・鄧小平氏死去、92歳 (2.19)。東海村の動燃工場爆発 (3.11)。今世紀最大級のヘル・ポップすい星接近 (3.22)。「女の一生」の女優杉村春子氏死去 (4.4)。香港返還 (英国から中国に) (7.1)。